

第2次所沢市保健医療計画 令和5年度取組状況評価シート

目 次

第1章 健康の保持・増進	3
第1節 健康づくりの推進	3
第2節 母と子の健康	6
第3節 栄養・食生活	9
第4節 歯・口腔の健康	13
第5節 予防接種	16
第2章 早期発見・支援	18
第1節 生活習慣病対策	18
第2節 精神疾患	21
第3節 自殺対策	23
第3章 医療提供体制	27
第1節 小児医療・周産期医療	27
第2節 救急医療	29
第3節 地域医療	31
第4章 市の公立医療機関の役割	34
第1節 所沢市市民医療センター	34
第2節 所沢市歯科診療所あおぞら	37
第5章 健康危機管理	38
第1節 感染症対策	38
第2節 災害時医療	40
第6章 計画の円滑な推進	42
第1節 保健・医療・介護・福祉の連携	42
第2節 計画の推進体制と進行管理	45
令和5年度 第2次所沢市保健医療計画取組状況評価シート委員会コメント一覧	46
第1章 健康の保持・増進	46
第2章 早期発見・支援	47
第3章 医療提供体制	47
第4章 市の公立医療機関の役割	48
第5章 健康危機管理	48
第6章 計画の円滑な推進【再掲】	49

1. 目標指標の達成度

- 定量的な指標：令和7年度の目標値に対する当該年度の達成率により、目標指標達成度（評価）を求める。

・基準表

定量的な目標指標	判断基準	達成度
	達成率95%を超える	S
	達成率80%～95%	A
	達成率50%～80%未満	B
	達成率30%～50%未満	C
	達成率30%未満	D
※定量的な目標指標の判断基準に関する考え方		
<ul style="list-style-type: none"> 目標（令和7年度）に対する実績について、各年度毎で達成度を判定する。 <p>【減少を目標とした項目の評価について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1章第1節（2）「成人の喫煙率の減少（喫煙をやめたい者がやめる）」等、実績が下がる程目標に近づき、達成度が高くなる指標の達成率は、以下の式に当てはめて算出し、該当指標の特記事項に計算式を明記する。 <p>《式（単位：％）》</p> $\frac{(100 - \text{実績(当該年度)})}{(100 - \text{目標(令和7年度)})} \times 100$		

- 定性的な指標：目標に対する各年度の取組実績により判断して目標指標達成度（評価）を求める。

定性的な目標指標	判断基準	達成度
	現状（＝計画策定時点）の水準から進展が見られた（充実、改善等）	◎
	現状（＝計画策定時点）の水準を維持した（実施、継続等）	○
	現状（＝計画策定時点）の水準を維持できなかった、進展がなかった（未実施、未達成等）	△
※定性的な目標指標の判断基準に関する考え方		
<ul style="list-style-type: none"> 目標が「継続」等であっても、毎年度、充実・改善等をしながら推進していく考え方とする。 現状（基準年）と同じレベルで維持している場合の達成度は基本的には「○」とする。 「○」以外の達成度を選択した場合はその理由を「特記事項」に記載する。 		

※令和5年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止された取組が目標指標に影響する場合、目標指標達成度は未評価「—」とします。

2. 評価方法

- 評価は、小項目ごとの「目標指標に対する達成度」により行う。
- 「今後の市の方向性」に対する取組実績について、各節ごとに委員会からの指摘や要望等を、必要に応じて「委員会コメント」に記載することで評価を補足するものとする。

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート

第1章 健康の保持・増進

基本方針	市民が生涯を通じて健康で幸せを実感し元気がいきいきと暮らせるよう、健康づくり、生活習慣病予防、バランスの良い食生活、歯・口腔の健康などについて推進します。
------	---

第1節 健康づくりの推進 (1)身体活動・運動、休養

今後の市の方向性	(1) 健康意識を高める仕組みづくりを行います。 (2) 運動・休養等からだの健康に関する相談窓口等を周知します。 (3) 保健師地区担当制による地区活動や「トコトコ健幸マイレージ事業」への参加者を拡大するなど、健康への関心が低い人へもアプローチする仕組みづくりを進めます。 (4) 健やかな心身をはぐむ子育て支援を推進します。 (5) 健康を意識した生活が送れるよう学校保健・関係機関との連携を図ります。 (6) 市民自らの健康保持・増進への取組を推進(支援)します。
----------	--

	主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	(1) ポイントを貯めながら歩くこと等による健康づくりを支援する「トコトコ健幸マイレージ事業」において、病気を予防するための目標歩数や効果的なウォーキング方法を周知し、健康意識を高める仕組みをつくった。また、本市独自のポイントや景品を設定することで魅力を高めつつ、非常利法人によるウォーキングイベント「オクトーバー・ラン&ウォーク」への参加、ウォーキングの基礎や筋力トレーニング習得を目的としたウォーキング教室の実施、他課事業と連携したイベント参加者に対するポイントの付与、商業観光課が新設した「東川さくらおさんぽコース」の道標への健康情報の掲示等により、歩数増加及び継続参加を促した。さらに、令和6年度のリニューアルに伴い新たに導入する健康増進アプリ「コバトンALKOOマイレージ」の新規参加者募集やアプリ操作講習会の実施、現行の歩数計参加者へのフォロー及びスマホ未所有対策を検討し、移行に向けて準備を行った。 【令和5年度実績】 マイレージ参加者:14,738人 他課イベント参加者:延べ525人	健康づくり支援課	トコトコ健幸マイレージ事業 成人健康教育・相談事業
	(2) 市ホームページや広報紙、健康ガイドとところざわで保健センターの各種相談事業を周知した。また、保健センターの各種教室や相談事業、出張講座、地区活動の他、各まちづくりセンターに「ご相談は保健センターへ」のチラシを配布し、相談窓口を周知した。	健康づくり支援課	成人健康教育・相談事業 地域保健推進事業
	(3) 保健師・栄養士・歯科衛生士・理学療法士等の多職種が連携し、市ホームページや広報紙、保健センターの各種教育や相談事業、出張講座、地区活動等を通じて、ポイントを貯めながら歩くこと等による健康づくりを支援する「トコトコ健幸マイレージ事業」を周知啓発し、健康に意識が向きにくいとされる働き盛りや子育て世代へも広くアプローチした。	健康づくり支援課	トコトコ健幸マイレージ事業 地域保健推進事業
	(4) 家庭で気軽に実践できる「親子ふれあい体操」のリーフレットを4か月児・10か月児健康診査票に同封するとともに、保健センターの乳幼児健康診査会場にポスターを掲示し、健やかな心身をはぐむ子育て支援を推進した。	健康づくり支援課	母子健康教育・相談事業
	(5) 学校生活に向けて生活リズムや朝食と栄養の大切さを意識づけるため、新入学児童保護者説明会でパンフレットを配布した。また、保健給食課、スポーツ振興課と教育現場の現状を共有し、小・中3向け保健体育教材用リーフレットを配布するなど学校保健・関係機関との連携を図った。	健康づくり支援課	健康づくり推進事業
	(6) 保健センターの各種教育や相談事業、出張講座、地区活動等で、気軽に取り組める運動や望ましい生活習慣について周知啓発した。また、ポイントを貯めながら歩くこと等による健康づくりを支援する「トコトコ健幸マイレージ事業」を周知啓発し、市民自らの健康づくりを推進した。 生涯を通してスポーツに親しまききっかけづくりとして、「さわやか健康体操教室」「手軽に健やか体操教室」、「男性いつまでも元気体操教室」「市民体力つくりラケットテニス大会」「市民体力つくりころもウォーク」「こどもスポーツフェア」及び、親子で楽しめる事業「親子3世代モルック体験会」「親子スポーツフェア」「親子で逆上がり教室」「親子でなわとびチャレンジ」「親子ティーボール教室」を開催し、市民自らの健康保持・増進への取組を推進した。 熱中症による健康被害を市民自らが防いでいく行動を促すため、以下のとおり熱中症予防の周知啓発を行った。 ・熱中症警戒アラート発表時に防災行政無線、ところざわほっとメール及びLINE、のぼり旗による注意喚起を実施した。 ・広報紙(7月号)に熱中症予防対策に関する記事を掲載した。 ・熱中症に関する展示(マチごとエコタウン推進課と共同で2日間、単独で7日間)を実施した。 ・イベント会場等で塩タブレット等啓発資材を配布した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛、運動不足、人との触れ合い機会の減少による健康二次被害防止のため、市民自らが日常生活の中で自分なりの「楽しみ(FUN)」をプラスして、「自然と歩数を増やす」「行動を変えていく」ことを目指し、「FUN+WALK〜歩くことを楽しくもって健幸に〜」を掲げ、市ホームページや広報紙を通じて周知した。 ・広報紙(7月号)に、いつもの歩数にプラス1,000歩を実施するための具体的な行動として、歩数を数える・歩きやすい服装にする・下りは階段を使う・少しだけ遠回りする・歩幅を10センチ広げてみる、ということを掲載した。 【令和5年度実績】 本庁舎階段室に行動変容のためのポスターを掲示(12月・3月)	健康づくり支援課 スポーツ振興課 保健医療課	トコトコ健幸マイレージ事業 成人健康教育・相談事業 地域保健推進事業 健康体操推進事業 地域力活用運動好きな子ども育成事業 スポーツ教室開催事業 体力つくり大会開催事業 熱中症予防対策 健康啓発

目標指標	指標名	日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施した人の割合						関係事務事業名称
	目標(令和7年度)	実績	50.7%	50.2%	50.8%	51.1%		
日常生活における身体活動、運動への取組に関する指標です。現状は平成29年度特定健診データ解析結果によるものです。運動習慣の獲得を目指し、日常生活で継続して取り組めるよう周知啓発に努めます。	目標(令和7年度) 55.0%	実績	50.7%	50.2%	50.8%	51.1%	成人健康教育・相談事業	
	現状(平成29年度【参考値】) 51.3%	目標指標達成度	A	A	A	A		

特記事項	
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート

第1章 健康の保持・増進

第1節 健康づくりの推進 (2) 飲酒・喫煙

今後の市の方向性	(1) 適正な飲酒量について普及啓発を実施します。 (2) 妊婦や子どもの飲酒防止について啓発します。 (3) 喫煙や受動喫煙の健康への影響について啓発を行います。
----------	--



	主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	(1) 保健センターの各種教育や相談事業、出張講座、地区活動等において、適正な飲酒量について普及啓発を実施した。	健康づくり支援課	成人健康教室・相談事業 地域保健推進事業
	(2) 妊娠届出時や両親学級においてリーフレットを配布し、妊婦の飲酒防止について啓発した。 また、保健体育の教材として市内中学3年生に配布しているリーフレットに飲酒喫煙防止について掲載し、啓発を行った。	健康づくり支援課	母子健康教育・相談事業 健康づくり推進事業
	(3) 保健センターの各種教育や相談事業、出張講座、地区活動において、喫煙や受動喫煙の健康への影響について普及啓発し、リーフレットを保健センター窓口等に配架した。また、市ホームページに喫煙による健康への影響や子育て世代の喫煙状況、禁煙に関する情報を掲載し、啓発を行った。 ・受動喫煙による健康被害から市民を守るとともに、喫煙により生じる問題に関する教育及び啓発を行うため、講師を招き、関係課職員へ「受動喫煙防止対策を進めるための研修会」を開催した。 ・喫煙や受動喫煙による健康被害の影響について、関係各課と情報共有を行った。 特定健診の結果に基づく特定保健指導として、「血管すっきり健康講座」を開催し、喫煙に着目した保健指導を行ったほか、禁煙成功者へのアンケートを実施した。	健康づくり支援課	成人健康教室・相談事業 地域保健推進事業
		保健医療課	健康啓発
		国民健康保険課	特定保健指導事業

目標指標	指標名	成人の喫煙率の減少(喫煙をやめたい者がやめる)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称	
	禁煙希望者に対する健康づくり(禁煙支援)を推進し禁煙希望者が禁煙することにより成人の喫煙率を減らしていく為の指標です。	目標(令和7年度)	実績	20.9%	20.1%	20.1%	20.2%				健康づくり推進事業
		18.0%	達成率	96.5%	97.4%	97.4%	97.3%				
現状(平成29年度【参考値】)	目標指標達成度	S	S	S	S						

特記事項	【令和5年度達成率算出方法】 (100%-20.2% (【実績】令和5年度)) / (100%-18.0% (【目標】令和7年度)) × 100 = 97.3%
------	---

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート

第1章 健康の保持・増進

第1節 健康づくりの推進 (3)生活習慣病予防(がん・高血圧・糖尿病等)

今後の市の方向性	(1) 生活習慣病予防に関する情報を発信します。 (2) 健康への関心が低い人へもアプローチする仕組みづくりを推進します。 (3) 健康診断(検診)の重要性を周知し、受診率向上に向けた取り組みを進めます。 (4) 関係機関と連携し生活習慣病の予防に努めます。 (5) 市民自らの健康保持・増進への取組を推進(支援)します。
----------	---



	主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	(1) 市ホームページや広報紙に、生活習慣病予防に関する情報を掲載した。また、保健センターや各まちづくりセンターに各種事業や健康情報を掲示し、情報を発信した。	健康づくり支援課	成人健康教育・相談事業
	(2) 保健師・栄養士・歯科衛生士・理学療法士等の多職種が連携し、市ホームページや広報紙、保健センターの出張講座、地区活動等を通じて、生活習慣病予防やポイントを貯めながら歩くこと等による健康づくりを支援する「トコトコ健幸マイレージ事業」を周知啓発し、健康に意識が向きにくいとされる働き盛りや子育て世代へも広くアプローチする仕組みづくりを推進した。	健康づくり支援課	成人健康教育・相談事業 トコトコ健幸マイレージ事業 地域保健推進事業
	(3) 「健康ガイドとところざわ」、広報紙や市ホームページ、ところざわほっとメール、各イベントでのPR、保健センターの各種教育や相談事業、出張講座、地区活動等で健診(検診)の重要性を周知し、受診率向上に向けた取組を進めた。	国民健康保険課	特定健康診査等受診勧奨事業
		健康づくり支援課	成人健康教育・相談事業 地域保健推進事業
	(4) 高齢者支援課、生活福祉課、国民健康保険課、健康管理課と連携し、保健センターの各種教育や相談事業、出張講座、地区活動等で生活習慣病予防に努めた。	健康づくり支援課	成人健康教育・相談事業 地域保健推進事業
(5) 保健センターの各種教育や相談事業、出張講座、地区活動等で、気軽に取り組める運動や望ましい生活習慣について周知啓発した。また、ポイントを貯めながら歩くこと等による健康づくりを支援する「トコトコ健幸マイレージ事業」を周知啓発し、市民の健康づくりを推進した。 特定健診の結果に基づく特定保健指導として、情報提供、動機付け支援、積極的支援に階層化した。 情報提供に階層化された対象者の中で、要指導域の方には健康講座を案内し、要医療域の方には受診勧奨通知を送付した。 動機付け支援および積極的支援に階層化された対象者には、「個別相談」「血管若返りセミナー」「気軽にシェイプ運動教室」「血管すっきり健康講座」などの特定保健指導事業を開催し、保健・栄養・運動の観点から自らの生活を振り返る機会を提供した。 また、上記事業の未利用者に対しては、電話や訪問による利用勧奨や未利用者を対象とした「血管年齢測定」「栄養教室」「運動教室」を開催した。	健康づくり支援課	成人健康教育・相談事業 トコトコ健幸マイレージ事業 地域保健推進事業	
		国民健康保険課	特定保健指導事業 特定保健指導未利用者対策事業

目標指標	指標名	健幸(健康)マイレージ参加者のうち「健康に気をつけている」人の割合		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称	
	健康意識についての向上を測るための指標です。健幸(健康)マイレージの参加者にアンケート調査を行い把握します。	目標(令和7年度)	実績	74.6%	73.1%	71.8%	72.5%				
		85.0%	達成率	87.8%	86.0%	84.5%	85.3%				
現状(平成30年度【参考値】)	目標指標達成度	A	A	A	A						

特記事項	
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート

第1章 健康の保持・増進

第2節 母と子の健康 (1) 子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり

今後の市の方向性	(1) 必要な時に必要な情報が得られるよう、関係機関が連携し相談体制を充実します。 (2) 子育て世代の孤立化の防止、健やかな成長を支援し安心できる環境づくりを進めます。 (3) 親子に絵本の読み聞かせを行い、親子のふれあいの機会を提供することで、子どもの健やかな成長を支援します。
----------	---



	主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	(1) 各地区の子育て関係会議(子育てネットワーク会議、まちづくり協議会の子育て関連の部会)への参加や、主任児童委員と情報共有会議を実施し、地域の課題や個別支援について共有し連携を強化した。 子ども支援センター子育て支援エリア「ルピナス」と関係課(保育幼稚園課保健師・栄養士)が連携して、子育て世代が相談しやすい場を充実させた。	健康づくり支援課	健康づくり推進事業
		子ども支援課 保育幼稚園課	子ども支援センター運営事業(子育て支援)
	(2) 妊娠届出を子育て世代包括支援センター「かるがも」に一本化し、専門職の助産師・保健師と全数面談を実施することにより、妊娠初期から様々な相談に対応した。【令和5年度実績】かるがも面談率97.9%(転入者含む) 妊娠届出や乳児家庭全戸訪問等で、保健センターの事業や個別相談、地域の子育て情報を周知した。 すべての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、「出産・子育て応援事業(面談または電話等によりニーズに即した支援を行う伴走型相談支援、出産応援ギフト及び子育て応援ギフトの支給を行う経済的支援)」を実施した。 【令和5年度実績】(出産応援ギフト支給人数)4,689人・(子育て応援ギフト支給人数)3,464人・(伴走型相談支援の相談件数)5,315件 子どもと福祉の未来館の2階の子ども支援センター「大地」では、4歳未満の乳幼児の親子が気軽に交流できるひろばを提供している子育て支援エリア「ルピナス」と、発達障害に関する早期からの相談や子どもの特性に応じた支援を行う発達支援エリア「マーガレット」とで子育て家庭への支援を行っている。これら2つのエリアで相談しやすい環境づくりに努めるとともに、連携して子育て講習会等の合同事業を実施した。 子育て世代の孤立化防止を図るため、保育園、児童館等、市内27施設で地域子育て支援拠点事業を実施した。	健康づくり支援課	妊娠・出産つづけてサポート事業 乳児家庭全戸訪問事業
		子ども政策課	出産・子育て応援事業(経済的支援)
		健康づくり支援課	出産・子育て応援事業(伴走型相談支援)
		子ども支援課	子ども支援センター運営事業(子育て支援)
		子ども福祉課	子ども支援センター運営事業(発達支援)
		子ども支援課	地域子育て支援拠点事業
	(3) 1歳6か月児健康診査会場でボランティアによる絵本の読み聞かせを実施し、子どもの健やかな成長を促すとともに、親子のふれあいの大切さの普及啓発を行った。	子ども支援課	ところっこ親子ふれあい絵本事業
		健康づくり支援課	母子健康教育・相談事業

目標指標	指標名	この地域で子育てをしたいと思います親の割合		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称		
	本市の子育て環境の充実について測るための指標です。健やか親子21調査で「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した人の割合であり、どの世代の人も暮らしやすいコミュニティがある地域を目指します。	目標(令和7年度)	95.0%	実績	93.8%	94.3%	93.8%	92.8%				母子健康教育・相談事業
		達成率			98.7%	99.3%	98.7%	97.7%				
現状(平成30年度【参考値】)	目標指標達成度	93.2%		S	S	S	S					

特記事項	
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート

第1章 健康の保持・増進

第2節 母と子の健康 (2) 切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策

今後の市の方向性	(1) 悩んだり迷ったりした時に相談できる場所(窓口)の周知と情報提供を行います。 (2) 安心して出産・子育てができる体制や環境を整え、母子保健事業を充実します。 (3) 親子のふれあいの楽しさや乳幼児期からの語りかけなど、子育てのポイントを伝えていきます。 (4) 子育て支援機関、保健・医療・福祉等の関係機関と連携を図ります。 (5) 様々な状況にある子どもや保護者へのきめ細かい支援を行います。
----------	---

	主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	「ところっこ子育てサポート事業」で妊娠期から出産・子育てに関する相談を実施し、事業のリーフレット配布などにより子育て世帯への情報提供を行った。 (1) 市内産科・小児科医療機関・各まちづくりセンター・保育園・幼稚園・児童館に「妊娠届出は子育て世代包括支援センターかかるとかも」のポスターを掲示し、妊娠期から子育て期にわたり切れ目ない支援のための相談窓口を周知した。1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査の集団会場において、子育てのヒントや相談先を案内する動画を上映し、情報提供を行った。	子ども支援課 健康づくり支援課	ところっこ子育てサポート事業 妊娠・出産つづけてサポート事業 母子健康教育・相談事業
	妊娠届出を子育て世代包括支援センター「かかるとかも」に一本化し、専門職の助産師・保健師と面談することによって妊娠初期から相談及び支援につなげるよう体制を整えた。【令和5年度実績】かかるとかも面談率97.9% (転入者含む) 心身のケアや育児サポート等のきめ細かい支援を行うため、産後ケア事業の宿泊型、デイサービス型を実施し、母子保健事業を充実した。	健康づくり支援課	妊娠・出産つづけてサポート事業 産後ケア事業(デイサービス型)
	すべての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう、出産・子育て応援事業を実施した。 【令和5年度実績】(出産応援ギフト支給人数)4,689人・(子育て応援ギフト支給人数)3,464人・(伴走型相談支援の相談件数)5,315件	子ども政策課 健康づくり支援課	出産・子育て応援事業(経済的支援) 出産・子育て応援事業(伴走型相談支援)
	1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査の集団会場において、幼児の食事バランス、乳幼児の歯の健康に関する動画を上映し情報を発信した。また、市ホームページで産後の母親に必要な栄養と食事の掲載や、幼児期のブラッシング動画を配信した。 「親子ふれあい体操」のリーフレットを4か月児・10か月児健康診査票に同封し、乳児期からの愛着形成の大切さを伝えた。	健康づくり支援課	乳幼児健康診査事業 母子健康教育・相談事業 食育推進事業 母子歯科保健指導事業
	「ところっこ親子で楽しむ運動あそび」を開催し、親子のふれあいの楽しさなどを伝えた。	子ども支援課	子ども支援センター運営事業(子育て支援)
	医療機関や関係機関との会議(子育てネットワーク会議、市内産科医療機関連携会議、まちづくり協議会の子育て関連の部会、保健センター・子ども相談センター・子ども支援センター・教育センターでの4センター会議、子ども家庭総合支援拠点連携会議等)への参加や、市内産科・小児科医療機関・保育園・幼稚園・児童館等と個別支援について共通認識と連携強化を図った。	健康づくり支援課	健康づくり推進事業
	外国籍世帯を対象に、母子健康手帳の外国語版発行、外国語表記による離乳食の進め方や乳幼児健康診査の必要性等の情報及び相談窓口のチラシを作成し、育児サービスが受けやすいよう支援を行った。	健康づくり支援課	健康づくり推進事業

目標指標	指標名	乳幼児健康診査未受診率(4か月・1歳6か月・3歳)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称		
	一連の健康診査の受診率から、切れ目ない支援について測るための指標です。妊娠期から切れ目ない支援を行い、乳幼児健診につないでいくことは、母子保健事業の中でも重要な課題であり、特に乳幼児健診の未受診は児童虐待のハイリスク要因とされていることから、乳幼児健康診査受診勧奨事業に積極的に取り組み、未受診率を減少させることを目指します。	目標(令和7年度)	実績	4.0%	5.8%	3.1%	5.0%					乳幼児健康診査事業
		2.7%	達成率	98.7%	96.8%	99.6%	97.6%					
現状(平成30年度【参考値】)	目標指標達成度	S	S	S	S							

特記事項	【令和5年度達成率算出方法】 (100%-5.0% (【実績】令和5年度)) / (100%-2.7% (【目標】令和7年度)) × 100 = 97.6%
------	---

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート

第1章 健康の保持・増進

第2節 母と子の健康 (3) 思春期の子どもたちのこころとからだの健やかな成長のための支援

今後の市の方向性	(1) (2)	子ども及び家庭に対する健康教育を進めます。 学校や関係機関との連携・情報提供を進めます。
----------	------------	---



	主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	(1) 小6・中3を対象に保健体育教材用リーフレットを配布した。就学時健康診断等で、学校生活に向けた生活リズムの大切さを意識づけるため、「早寝・早起きにはいいことがいっぱい！」のパンフレットを配布し健康教育を進めた。	健康づくり支援課	健康づくり推進事業
	市学校保健会では、性に関する指導の充実をはじめ、子どもたちの心身の健やかな成長のため、市内中学校15校にて専門講師派遣授業を実施した。また、学校では、子どもたちが自分で自分の健康を管理することができるよう発達段階に応じた健康教育を進めた。	保健給食課	学校保健事業
	(2) 家庭教育学級や学校保健委員会への出張講座を通して、教育現場との連携・情報提供を進めた。	健康づくり支援課	健康づくり推進事業
	各小中学校に心のふれあい相談員32人、スクールカウンセラー4人などを配置し、児童生徒および保護者の相談に対応した(のべ22,694件)。相談内容に応じて、学校、教育委員会の各機関、そのほか児童相談所や警察署等の関係機関との連携・情報提供を行い、支援の充実に努めた。	学校教育課	健やか輝き支援事業 スクールカウンセラー学校派遣事業

目標指標	指標名	児童生徒への健康に対する自己管理意識を高めるためのパンフレットを児童生徒に配布		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称		
	健康に関する自己管理意識について高めるための指標です。引き続き、児童生徒への健康教育を推進します。	目標(令和7年度) 継続	実績	達成率	継続	継続	継続	継続				健康づくり推進事業
		現状(平成30年度実績) 継続	目標指標達成度		○	○	○	○				

特記事項	
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート

第1章 健康の保持・増進

第3節 栄養・食生活 (1)適正体重を維持するための知識の普及

今後の市の方向性	(1) 肥満やメタボリックシンドローム、生活習慣病予防を目的とした、食生活改善のための栄養教育、健全な食生活からの健康保持・増進に取り組みます。 (2) 主食・主菜・副菜の揃ったバランスの良い食事や適正体重について普及啓発を行います。 (3) 学校保健と地域保健の連携により、健全な食生活を実践する力を育てる食育を推進します。 (4) 妊娠期から子育て期の母子の健康管理のための食育に関する普及啓発を図ります。 (5) 関係機関が連携して栄養教育を実施します。
----------	--



令和5年度 主な取組実績	主な取組		課名	関係事務事業名称
	(1)	保健センターの各種栄養教室において、生活習慣病予防に関する講話と調理実習を行い、健全な食生活からの健康保持・増進に取り組んだ。	健康づくり支援課	食生活改善推進事業
(2)	保健センターの各種栄養教室において、講話や調理実習を行い、適正体重を知り維持していくための食生活の重要性を普及啓発した。	健康づくり支援課	食生活改善推進事業	
(3)	新小学1年生を対象に、「しっかり学んで、しっかり食べよう」のパンフレットを配布し、児童期の子どもたちや家庭への食育を推進した。	健康づくり支援課	食育推進事業	
(4)	保健センターの母親学級(栄養)において、妊娠中の食生活を指導し個別に助言を行った。また、「産後ママクッキング」において、生後3～4か月の乳児とその母親を対象に調理実習を行い、産後の体調回復に良い食生活のための食育を推進した。	健康づくり支援課	食生活改善推進事業	
(5)	高齢者支援課と共催で65歳以上の方を対象に、フレイル予防をテーマに栄養・口腔ケア・運動について「すこやか栄養教室」を実施した。	健康づくり支援課	介護予防事業	

目標指標	指標名	適正体重を知り、維持していくための食生活の啓発		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称		
	適正体重を維持するための知識の普及について図るための指標です。引き続き、適正体重を意識した食生活に目を向けてもらえるよう事業を実施します。	目標(令和7年度) 継続	実績 達成率	継続	継続	継続	継続					食生活改善推進事業
		現状(平成30年度実績) 継続	目標指標 達成度	○	○	○	○					

特記事項	
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート

第1章 健康の保持・増進

第3節 栄養・食生活 (2)朝食を意識したバランスのよい食生活の普及

今後の市の方向性	(1) (2) (3)	正しい生活リズムを身につけるための取組を推進します。 野菜を食べる習慣を身につける取組を推進します。 関係機関と連携して児童生徒や保護者に対する食育を推進します。
----------	-------------------	---



令和5年度 主な取組実績	主な取組		課名	関係事務事業名称
	(1)	学校では、保護者に対し「保健だより」や保護者会を通して「正しい生活リズム」について発信するとともに、学校保健委員会や児童生徒保健委員会でもテーマとして取り上げ、児童生徒家庭での意識が向上するよう取組を推進した。	保健給食課	学校保健事業
(2)	保健センターの乳幼児健康診査や離乳食教室、児童館への出張講座等で、乳幼児の成長過程に応じた生活リズムの基礎作りやバランスのとれた食生活のための取組を推進した。	健康づくり支援課	食育推進事業	
(3)	保健センターの各種栄養教室で、野菜を摂取することの重要性を普及啓発した。また、旬の野菜を使用した健康レシピを「クックパッド」に掲載し野菜を食べる習慣を身につける取組を推進した。	健康づくり支援課	食育推進事業	
	新小学1年生を対象に、「しっかり学んで、しっかり食べよう」のパンフレットを配布し、児童期の子どもたちや家庭への食育を推進した。	健康づくり支援課	食育推進事業	
	栄養教諭や栄養士による授業や給食時間での食育指導を行った。また、「給食だより」等で、朝ごはんの大切さについて食育を推進した。	保健給食課	学校保健事業 学校給食食育推進事業	

目標指標	指標名	朝食を抜くことが週に3回以上ある者の割合		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称	
	朝食を意識したバランスの良い食生活の普及について測るための指標です。バランスの良い食生活の周知啓発に努めます。	目標(令和7年度)	実績	16.6%	16.9%	17.7%	18.9%				食育推進事業
		13.0%	達成率	95.9%	95.5%	94.6%	93.2%				
現状(平成29年度【参考値】)	目標指標達成度	S	S	A	A						

特記事項	【令和5年度達成率算出方法】 (100%-18.9% (【実績】令和5年度)) / (100%-13.0% (【目標】令和7年度)) × 100 = 93.2%
------	---

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート

第1章 健康の保持・増進

第3節 栄養・食生活 (3) 次世代に伝えたい食文化

今後の市の方向性	(1) 地域の食文化への関心と理解を深めるとともに、食文化の保護・継承に向けて、食育を推進します。 (2) 新鮮で安心・安全な農産物などを消費するとともに、生産者と消費者の交流を図ることができる地産地消を推進します。 (3) 関係機関と連携して、食文化の継承を図ります。
----------	---



	主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	(1) 「所沢農産物を活用した地産地消レシピ」vol.13にて、西武学園医学技術専門学校の学生が考案したレシピや健康づくり支援課による「健幸レシピ」を紹介し食育を推進した。【令和5年度実績】作成部数:6,000部 異世代料理教室、郷土料理教室を実施し、次世代へ伝えたい食文化について食育を推進した。	農業振興課	地産地消推進事業
		健康づくり支援課	食育推進事業
	(2) 親子料理教室では「野菜をおいしく食べるヒミツを学ぼう」、異世代料理教室では「みんなで夏野菜ランチを食べよう！」のテーマで講話と所沢産の有機栽培の野菜を使った調理実習を行い、地産地消を推進した。また、農園へ取材に行き、農家から聞いた内容や畑の写真を参加者に伝えた。 各農業者団体が、10月28日・29日開催の第46回農業祭等で農産物の品評会や即売会を行ない、所沢農産物について広く周知・PRを図ることで地産地消を推進した。 給食に地場産野菜を積極的に取り入れ、給食だよりや給食時間の放送等で紹介し、地域への関心や、生産者への感謝の気持ちを育てた。また、3学期には学校給食センターでは、有機栽培の人参、単独・親子方式調理校では、有機栽培の人参・じゃが芋・大根を使用した。有機栽培の野菜の生産者が給食時間にクラスを訪問して児童との交流を図り、残さず食べようという意欲へつなげることで地産地消を推進した。 【令和5年度実績】地場産野菜使用率:学校給食センター 6.4% 単独・親子方式調理校 15.5%	健康づくり支援課	食育推進事業
		農業振興課	地産地消推進事業 所沢農産物ブランド化推進事業
		保健給食課	学校給食食育推進事業
	(3) 食育月間にて、関係機関(食生活改善推進員協議会、地域活動栄養士会)、関係課(松原学園、保育幼稚園課、国民健康保険課、資源循環推進課、農業振興課、市民医療センター、保健給食課)と連携して、「野菜を食べて、健康になろう」のテーマで、食文化の継承を図った。 東京勝どきにて開催された太陽のマルシェの100年フードブースへ出展し、狭山茶を広くPRし伝統的な食文化の継承に努めた。 市内小中学校と連携し、子どもたちへの食文化の継承を目指して、献立に行事食や郷土食を取り入れた。献立表や給食だより等で紹介したり、当日の給食時間に指導し、給食を通して食文化の継承を図った。 【令和5年度実績】行事食 (5月)子どもの日献立、(6・11月)彩の国ふるさと学校給食月間、(7月)七夕献立、 (9月)お月見献立(10月)ハロウィン (12月)冬至献立(1月)七草・まゆだま、(2月)節分、(3月)ひなまつり 等	健康づくり支援課	食育推進事業
		農業振興課	所沢農産物ブランド化推進事業
		保健給食課	学校給食食育推進事業

目標指標	指標名	祖父母と孫で調理する料理教室や郷土料理をテーマとした料理講習会の開催		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称	
	次世代に伝えたい食文化の継承を図るための指標です。引き続き、異世代料理教室や郷土料理講習会等の開催を通じて伝統的な食文化の継承に努めます。	目標(令和7年度)	継続	実績	—	継続	継続	継続			
		達成率									
現状(平成30年度実績)	目標指標	継続	達成度	—	○	○	○				

特記事項	
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート

第1章 健康の保持・増進

第3節 栄養・食生活 (4)共食の推進

今後の市の方向性	(1) 家族や仲間と一緒に食事をすることの重要性を周知します。 (2) 健全で充実した食生活の実現に向けた食育を推進します。 (3) 関係機関と連携し「共食」の普及啓発を図ります。
----------	--



	主な取組		課名	関係事務事業名称
	令和5年度 主な取組実績	(1)	ファミリー食育教室や親子料理教室を実施し、望ましい食習慣について普及啓発した。また、離乳後期の教室を通じて共食の重要性を周知した。	健康づくり支援課
(2)		新1年生を対象に「しっかり学んで、しっかり食べよう」のパンフレットを配布し、児童期の子どもたちや家庭への食育を推進した。	健康づくり支援課	食育推進事業
(3)		食育月間にて、関係機関(食生活改善推進員協議会、地域活動栄養士会)、関係課(松原学園、保育幼稚園課、国民健康保険課、資源循環推進課、農業振興課、市民医療センター、保健給食課)と連携して、「野菜を食べて、健康になろう」のテーマで、共食について普及啓発を図った。	健康づくり支援課	食育推進事業
		栄養教諭・栄養士が担任等と連携し、食に関する授業や給食の指導を行い、食育や共食の普及啓発を図った。 【令和5年度実績】 (教科授業・学級活動) ・学校給食センター対象校:177回 ・単独・親子方式調理校:692回 (給食指導) ・学校給食センター対象校:随時 ・単独・親子方式調理校:随時	保健給食課	学校給食食育推進事業

目標指標	指標名	誰かと一緒に食べることの大切さの啓発		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称		
	共食の推進について食育教室等を通じて周知啓発を図るための指標です。引き続き、共食の重要性についての啓発に努めます。	目標(令和7年度)	継続	実績	継続	継続	継続	継続				食生活改善推進事業
		達成率										
現状(平成30年度実績)	継続	目標指標達成度		○	○	○	○					

特記事項	
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート

第1章 健康の保持・増進

第4節 歯・口腔の健康 (1) 歯と口の健康意識の向上

今後の市の方向性	(1)	歯と口の健康の大切さについて啓発します。
	(2)	歯科口腔保健事業を推進します。
	(3)	口腔と全身の健康との関連について周知を図ります。



		主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	(1)	市学校保健会において「むし歯のない子」の表彰を行い、歯と口の健康の大切さについて啓発した。 【令和5年度実績】1,705人(対象:小学校5年生)	保健給食課	学校保健事業
		食育月間において、おいしく食事をとるためには歯・口腔の健康が欠かせないことを啓発した。	健康づくり支援課	成人歯科保健指導事業 母子歯科保健指導事業
	(2)	歯と口の健康週間に合わせて、市ホームページにライフステージごとの歯と口の健康に関する動画を配信し歯科口腔保健事業を推進した。	健康づくり支援課	成人歯科保健指導事業 母子歯科保健指導事業
	(3)	成人を対象とした保健センターの歯科事業において、むし歯や歯周病が歯の喪失原因になるだけではなく、生活の質や全身の健康に影響を及ぼすことについて周知を図った。	健康づくり支援課	成人歯科保健指導事業
歯と口の健康週間行事において、各学校へ歯と口の健康についてのポスターを配布し周知を図った。		保健給食課	学校保健事業	

目標指標	指標名	かかりつけ歯科医を持つ者の割合		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称	
	青年期・壮年期(働き盛りの世代)以降における歯と口の健康意識について測るための指標です。生涯にわたる歯と口の健康づくりのためにかかりつけ歯科医を持ち、定期的に歯科検診を受けることの重要性が伝わるように、様々な機会を捉えて情報発信に努め、令和7年度までに70%を目指します。	目標(令和7年度)	実績	—	61.9%	59.1%	59.6%				成人歯科保健指導事業
		70.0%	達成率	—	88.4%	84.4%	85.1%				
現状(平成30年度【参考値】)	目標指標達成度	—	A	A	A						

特記事項	
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート

第1章 健康の保持・増進

第4節 歯・口腔の健康 (2) 口腔内疾病の予防

今後の市の方向性	(1)	切れ目のないむし歯予防・歯周病予防の取組の充実を図ります。
	(2)	むし歯・歯周病について、知識の向上や周知を図ります。
	(3)	定期的な歯科検診の必要性について周知します。



		主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	(1)	歯と口の健康が子どもの健やかな成長につながることを啓発するため、保健センターの1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康教室、3歳児健康診査で歯科相談を実施した。【令和5年度実績】実施回数:96回 また、3歳児フッ化物塗布券を配布し、幼児期からのむし歯予防の充実を図った。	健康づくり支援課	母子歯科保健指導事業
	(2)	成人歯科保健事業において、喫煙者本人だけでなく受動喫煙でも歯周病を悪化させる原因になることについて周知を図った。	健康づくり支援課	成人歯科保健指導事業
	(3)	保健センターの1歳6か月児健康診査、2歳児歯科健康教室、3歳児健康診査において、生涯を通じて歯と口の健康を保つために、幼児期からかかりつけ歯科医を持つことや、保護者と一緒に定期的な歯科検診を受ける必要性を周知した。	健康づくり支援課	母子歯科保健指導事業 成人歯科保健指導事業

目標指標	指標名	むし歯のない3歳児の割合		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称	
	乳幼児期におけるむし歯の状況について測るための指標です。現状は、平成30年度の割合です。目標は、歯みがきや食生活などの生活習慣を身につけ、定期的な歯科検診を受けることの重要性について周知・学習の機会の提供に努め、令和7年度までに90%を目指します。	目標(令和7年度)	実績	88.9%	92.6%	93.8%	95.0%				母子歯科保健指導事業
			達成率	98.8%	102.9%	104.2%	105.5%				
現状(平成30年度【参考値】)	目標指標達成度	S	S	S	S						

特記事項	
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート

第1章 健康の保持・増進

第4節 歯・口腔の健康 (3) 口腔機能の維持及び向上

今後の市の方向性	(1)	オーラルフレイル、口腔機能の低下を防ぐために必要な知識の向上や啓発を実施します。
	(2)	自分で歯を磨くことが難しい方については、家族に対し口腔ケアの知識向上に関する啓発を実施します。



		主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	(1)	元気歯つらつ教室や、高齢者を対象とした出張講座において、オーラルフレイル(=身体の衰えの一つで、特に口腔機能の軽微な低下や食の偏り等のこと)予防の重要性を啓発した。	健康づくり支援課	介護予防事業
	(2)	障害児(者)施設に通所する利用者と保護者に対し、自分で歯を磨くことが難しい方の口腔ケアについて、家族の理解や正しいケアの方法に関する教育や啓発を実施した。 【令和5年度実績】参加人数:258人	健康づくり支援課	母子歯科保健指導事業 成人歯科保健指導事業

目標指標	指標名	「なんでも噛んで食べられる」60歳代の割合		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称	
	咀嚼機能の維持について測る指標です。現状は、平成30年度の割合です。目標は、口腔機能の維持が身体の健康を保つことにもつながるため、健康な口腔機能を保つために必要な知識の向上や啓発に努め、令和7年度までに90%を目指します。	目標(令和7年度)	実績	—	83.2%	87.6%	79.5%				成人歯科保健指導事業
		90.0%	達成率	—	92.4%	97.3%	88.3%				
現状(平成30年度【参考値】)	目標指標達成度	—	A	S	A						

特記事項	
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート

第1章 健康の保持・増進

第5節 予防接種 (1) 予防接種に関する知識の普及

今後の市の方向性	(1)	感染症・予防接種に関する正確な情報提供を行います。
	(2)	医療機関と連携強化し、適正な予防接種の実施を図ります。



		主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	(1)	「健康ガイドとところざわ」や市ホームページ等により各種予防接種に関する案内を行った。また、接種対象者については、送付している個別通知で、ワクチンの効果や副反応に関する情報提供を行い、正しい理解のもと接種を受けられるよう情報提供に努めた。その他に市立小学校の「保健だより」へ予防接種に関する掲載し情報提供を行った。	健康管理課	各種予防接種事業
	(2)	予防接種協力医療機関に対して、「予防接種実施要領」や「予防接種ガイドライン」を送付したほか、予防接種の実施に関する情報を随時提供することにより適正な実施を図った。	健康管理課	各種予防接種事業

目標指標	指標名	勸奨通知による疾病罹患予防の重要性、予防接種の有効性、副反応等の知識の普及啓発の実施		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称		
	接種勸奨通知による疾病罹患予防の重要性、予防接種の有効性、副反応等についての知識の普及啓発を図るための指標です。引き続き、予防接種に関して知識の普及啓発に努めます。	目標(令和7年度) 継続	実績	継続	継続	継続	継続	継続				各種予防接種事業
		達成率										
現状(平成30年度実績) 継続	目標指標 達成度		○	○	○	○						

特記事項	
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート

第1章 健康の保持・増進

第5節 予防接種 (2) 予防接種接種率の向上

今後の市の方向性	(1) (2)	接種勧奨を継続し、安定的に予防接種を実施します。 医療機関へのきめ細かい情報提供を継続して行います。
----------	------------	---



令和5年度 主な取組実績	主な取組		課名	関係事務事業名称
	(1)	定期接種の対象者に個別通知を送付した。 また、生後2か月になる前に、乳児期に開始する予防接種の予診票と併せて、予防接種に関する説明文や小冊子を同封して送付し、勧奨を行っていたが、8月より乳幼児期に接種する予防接種の予診票を管理しやすくなるよう冊子化を行い送付した。 さらに、接種率の向上のため、未接種者に対し、主に以下の対応を行った。 ・接種勧奨通知の送付 ・保健師による訪問指導や乳幼児健診の際に、定期接種の接種状況を確認し、未接種者には接種勧奨 ・保健給食課と連携し、就学時健康診断時に、保護者へ予防接種勧奨チラシを配布し、接種勧奨		健康管理課
(2)	予防接種協力医療機関に対して、「定期予防接種実施要領」や「予防接種ガイドライン」を送付したほか、予防接種の実施に関する情報提供を継続して行った。		健康管理課	各種予防接種事業

目標指標	指標名	二種混合予防接種の接種率				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称	
	二種混合予防接種の接種率を示す指標です。現状は、平成30年度の接種率です。目標は、令和7年度までに85%を目指します。	目標(令和7年度)	85%	実績	82.4%	81.6%	69.8%	84.2%					各種予防接種事業
		達成率		96.9%	96.0%	82.1%	99.1%						
現状(平成30年度【参考値】)	78%	目標指標達成度	S	S	A	S							

特記事項	
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート

第2章 早期発見・支援

基本方針	生活習慣病、精神疾患、こころの健康問題などの早期発見と支援の強化を図ります。
------	--

第1節 生活習慣病対策 (1)がん

今後の市の方向性	(1) がん検診の受診率向上を図ります。 (2) がん検診の普及啓発を実施します。 (3) 健康により生活習慣の知識の向上や情報提供を行います。 (4) がん検診や特定健診を習慣化させ、生活習慣を振り返る大切さを普及啓発します。 (5) 関係機関と連携し、生活習慣病の早期発見を目指します。
----------	---

	主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	保健センターの各種教育や相談事業、出張講座、地区活動等において、がん検診の重要性を周知し受診率向上を図った。	健康づくり支援課	成人健康教室・相談事業 地域保健推進事業
	(1) 以下の取組により、がん検診の受診率向上を図った。 ・市内全戸配布の「健康ガイドとところざわ」でがん検診をご案内するとともに、切り取り式のがん検診申し込みはがきのページを用意し、料金受取人払いで市民が郵便料の負担なく申込可能とした。 ・市ホームページに申し込み案内のコンテンツを用意し、電子申請のページに遷移できるようURLを添付した。 ・「広報とところざわ」の「保健センター通信」で申込期限等をご案内した。 ・「ところざわほっとメール」で申込期限をお知らせし、電子申請のページに遷移できるようURLを添付した。 ・土・日曜日にごがん検診を受診できるよう、バス検診を実施した。また、子宮頸がん検診のバス検診を開始し、実施回数を増やした。 ・協会けんぽによる被扶養者向けの特定健康診査と合同で、胃・肺・大腸がんのバス検診を実施した。 ・HPV自己検査キットによる子宮頸がん検診受診促進事業として、28歳の女性を対象に案内し、希望者には無料でHPV自己検査キットによる検査を実施し、子宮頸がん検診の受診勧奨を行った。 ・がん検診を未受診の40～69歳の国民健康保険加入者を対象に、受診券等を送付する勧奨を実施した。 ・保健センターで実施する集団検診に「女性受診者のみの日」を設け、受診しやすい環境の整備に努めた。	健康管理課	がん検診事業
	保健センターの各種教育や相談事業、出張講座、地区活動等において、がん検診の重要性を周知し受診促進に向けた普及啓発を実施した。	健康づくり支援課	成人健康教室・相談事業 地域保健推進事業
	(2) ・広報とところざわ3月号にごがん検診の特集記事を掲載し、定期受診を継続することが早期発見につながることを中心に、がん検診の普及啓発を実施した。 ・国保特定健診のご案内に、がん検診の情報を掲載し、普及啓発を実施した。	健康管理課	がん検診事業
	(3) 保健センターの各種教育や相談事業、出張講座、地区活動等において、健康により生活習慣について周知啓発した。	健康づくり支援課	成人健康教室・相談事業 地域保健推進事業
(4) 保健センターの各種教育や相談事業、出張講座、地区活動等において、健診の重要性や健康により生活習慣について普及啓発した。 健診結果を生かした生活習慣の改善を目的に「元気応援！健康講座2023」を実施した。(定員:20名) 参加者が健診結果と生活習慣の関係性を学び、自ら健康づくりの行動計画を立案・実践し、取り組んだ成果を次の健診で確認できるよう支援した。 【令和5年度実績】参加人数 1回目:6月23日 18名 2回目:7月4日 16名 3回目:7月25日 17名 4回目:8月28日 16名 5回目:11月21日 17名 フォローアップ講座:3月5日 14名	健康づくり支援課	成人健康教室・相談事業 地域保健推進事業	
(5) 健康管理課と連携し、保健センターの各種教育や相談事業、出張講座、地区活動等において、生活習慣病予防について普及啓発し早期発見を目指した。	健康づくり支援課	成人健康教室・相談事業 地域保健推進事業	

目標指標	指標名	がん検診の受診者数							関係事務事業名称	
	がん(胃・肺・大腸・乳・子宮頸・前立腺)検診の受診者数を示す指標です。現状は、平成30年度のがん検診の受診者数です。目標は、令和7年度までに受診者数48,000人を目指します。	目標(令和7年度)	実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		48,000人	達成率	36,020人	43,287人	41,678人	45,131人			
		現状(平成30年度【参考値】)	目標指標達成度	B	A	A	A			がん検診事業
		41,892人								

特記事項	がん検診受診者数(令和5年度) 胃がん:5,214人 肺がん:3,075人 大腸がん:17,850人 乳がん:5,576人 子宮頸がん:10,330人 前立腺がん:3,086人 (令和4年度) 胃がん:3,843人 肺がん:2,738人 大腸がん:17,720人 乳がん:4,658人 子宮頸がん:9,434人 前立腺がん:3,285人
------	---

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート

第2章 早期発見・支援

第1節 生活習慣病対策 (2)脳卒中・心筋梗塞

今後の市の方向性	(1) 定期的な健康診断(検診)・かかりつけ医等の重要性を周知し、受診率向上を図ります。 (2) 食や運動をはじめとする正しい生活習慣についての知識向上や情報提供を行います。 (3) 健康診断(検診)の受診を習慣化させ、生活習慣を振り返る大切さを普及啓発します。 (4) 市の関係部署と連携し、生活習慣病の早期発見に努めます。 (5) 市民自らの健康保持・増進への取組を推進(支援)します。
----------	---



	主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	保健センターの各種教育や相談事業、出張講座、地区活動等において、健康診断(検診)の重要性を周知し受診率向上を図った。	健康づくり支援課	成人健康教室・相談事業 地域保健推進事業
	(1) 所沢市医師会加入医療機関へ受診勧奨ポスターを配布し、特定健康診査の重要性について普及啓発を行った。また、埼玉西武ライオンズの選手を起用したポスター、ところざわほっとメールや自治会回覧、コミュニティビジョン、ところバス中吊りを活用した受診勧奨や、イベント時に各健診の普及啓発を行った。	国民健康保険課	特定健康診査等受診勧奨事業
	(2) 保健センターの各種教育や相談事業、出張講座、地区活動等において、健全な食生活や運動について情報提供を行った。	健康づくり支援課	成人健康教室・相談事業 地域保健推進事業
	(3) 保健センターの各種教育や相談事業、出張講座、地区活動等において、健康により生活習慣について普及啓発した。	健康づくり支援課	成人健康教室・相談事業 地域保健推進事業
	(4) 国民健康保険課と連携し、保健センターの各種教育や相談事業、出張講座、地区活動等において、生活習慣病予防について普及啓発し早期発見に努めた。	健康づくり支援課	成人健康教室・相談事業 地域保健推進事業
	生活習慣病の早期発見を行うことが目的である特定健康診査について、関係部署(衛生部門、商業農業部門、子育て部門)に勧奨依頼(ポスター掲示、チラシ配架、発行物への記事掲載)を行った。	国民健康保険課	特定健康診査等受診勧奨事業
(5) 保健センターの各種教育や相談事業、出張講座、地区活動等において、健康により生活習慣について周知啓発した。また、ポイントを貯めながら歩くこと等による健康づくりを支援する「トコトコ健幸マイレージ事業」を実施し、健康づくりを推進した。	健康づくり支援課	成人健康教室・相談事業 トコトコ健幸マイレージ事業 地域保健推進事業	
	地域の自主防災訓練について、埼玉西部消防局や所沢市消防団の協力の下、心肺蘇生法を含めたAEDの使用方法についての訓練を実施した。	危機管理室	自主防災組織育成事業

目標指標	指標名	所沢市国民健康保険被保険者のうち、特定健診の結果、収縮期血圧130mmHg以上の人の割合	実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称
				男性 55.0% 女性 50.3%	男性 52.0% 女性 48.4%	男性 53.7% 女性 49.4%	男性 51.3% 女性 47.5%	男性 女性	男性 女性	
脳卒中・急性心筋梗塞の発症要因となる高血圧の状態を測る指標です。収縮期血圧130mmHg以上は保健指導判定値であり、生活習慣を見直すことで改善が期待されます。現状は、平成30年度の割合です。脳卒中・急性心筋梗塞の発症の前段階である高血圧を予防するために、令和7年度までに男性49%、女性43%を目指します。		目標(令和7年度) 男性49.0%、女性43.0%	達成率	男性 88.2% 女性 87.2%	男性 94.1% 女性 90.5%	男性 90.8% 女性 88.8%	男性 95.5% 女性 92.1%			特定健康診査等実施事業
			目標指標達成度	男性 A 女性 A	男性 A 女性 A	男性 A 女性 A	男性 S 女性 A			

特記事項	【令和5年度達成率算出方法】 男性：(100%-51.3% (【実績】令和5年度)) / (100%-49.0% (【目標】令和7年度)) × 100 = 95.5% 女性：(100%-47.5% (【実績】令和5年度)) / (100%-43.0% (【目標】令和7年度)) × 100 = 92.1%
------	---

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート

第2章 早期発見・支援

第1節 生活習慣病対策 (3)糖尿病

今後の市の方向性	(1) 定期的な健康診断(検診)等の重要性を周知し、受診率向上を図ります。 (2) 食や運動をはじめとする正しい生活習慣についての知識向上や情報提供を行います。 (3) 健康診断(検診)の受診を習慣化させ、生活習慣を振り返る大切さを普及啓発します。 (4) 市の関係部署と連携し、生活習慣病の早期発見を図ります。 (5) 市民自らの健康保持・増進への取組を推進(支援)します。
----------	--



	主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	保健センターの各種教育や相談事業、出張講座、地区活動等において、健康診断(検診)の重要性を周知し受診率向上を図った。	健康づくり支援課	成人健康教室・相談事業 地域保健推進事業
	(1) 所沢市医師会加入医療機関へ受診勧奨ポスターを配布し、特定健康診査の重要性について普及啓発を行った。また、埼玉西武ライオンズの選手を起用したポスター、ところざわほっとメールや自治会回覧、コミュニティビジョン、ところバス中吊りを活用した受診勧奨や、イベント時に各健診の普及啓発を行った。	国民健康保険課	特定健康診査等受診勧奨事業
	(2) 保健センターの各種教育や相談事業、出張講座、地区活動、市ホームページ等において健全な食生活や運動について情報提供を行った。	健康づくり支援課	成人健康教室・相談事業 地域保健推進事業
	(3) 保健センターの各種教育や相談事業、出張講座、地区活動、市ホームページ等において、健康によい生活習慣について普及啓発した。	健康づくり支援課	成人健康教室・相談事業 地域保健推進事業
	(4) 国民健康保険課と連携し、保健センターの各種教育や相談事業、出張講座、地区活動、市ホームページ等において、生活習慣病予防について普及啓発し早期発見を図った。	健康づくり支援課	成人健康教室・相談事業 地域保健推進事業
	生活習慣病の早期発見を行うことが目的である特定健康診査について、関係部署(衛生部門、商業農業部門、子育て部門)に勧奨依頼(ポスター掲示、チラシ配架、発行物への記事掲載)を行った。	国民健康保険課	特定健康診査等受診勧奨事業
(5) 保健センターの各種教育や相談事業、出張講座、地区活動等において、健康によい生活習慣について周知啓発した。また、ポイントを貯めながら歩くこと等による健康づくりを支援する「トコトコ健康マイレージ事業」を実施し、健康づくりを推進した。	健康づくり支援課	成人健康教室・相談事業 トコトコ健康マイレージ事業 地域保健推進事業	

目標指標	指標名	所沢市国民健康保険被保険者のうち、特定健診の結果、空腹時血糖値100mg/dl以上の人の割合				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称
	糖尿病の発症要因となる血糖の状態を測る指標です。空腹時血糖100mg/dl以上は保健指導判定値であり、生活習慣を見直すことで改善が期待されます。現状は、平成30年度の割合です。糖尿病を引き起こす高血糖の状態を予防するために、令和7年度までに男性35%、女性20.5%を目指します。	目標(令和7年度) 男性35.0%、女性20.5%	実績	男性 40.5%	男性 39.5%	男性 40.3%	男性 37.3%	男性 女性	男性 女性			
				女性 26.5%	女性 25.9%	女性 25.2%	女性 23.7%					
現状(平成30年度【参考値】) 特定健診受診者のうち 男性40.8%、女性25.4%	目標指標 達成度	男性 A	男性 A	男性 A	男性 S							
		女性 A	女性 A	女性 A	女性 S							

特記事項	【令和5年度達成率算出方法】 男性：(100%-37.3% (【実績】令和5年度)) / (100%-35.0% (【目標】令和7年度)) × 100 = 96.5% 女性：(100%-23.7% (【実績】令和5年度)) / (100%-20.5% (【目標】令和7年度)) × 100 = 96.0%
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート

第2章 早期発見・支援

第2節 精神疾患 (1) 認知症

今後の市の方向性	(1)	認知症を正しく理解するための普及啓発を行います。
	(2)	認知症施策を推進していくため保健・医療・介護・福祉と連携を図ります。



		主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	(1)	認知症に関する基本的な知識や対応方法を学ぶ認知症サポーター養成講座を開催し、認知症を正しく理解するための普及啓発を行った。 【令和5年度新規養成者数】1,822名(令和4年度実績:1,280名) 新型コロナウイルスが5類に分類されたことにより、コロナ禍前の状態に戻りつつあり、回数、人数ともに前年度実績は上回った。	高齢者支援課	認知症施策推進事業
	(2)	認知症初期集中チームなどの認知症支援の関係機関や地域の資源が必要な対象者のケアに繋がるよう、認知症地域支援推進員とともに、定例会などを通し連携を図った。	高齢者支援課	認知症施策推進事業

目標指標	指標名	認知症サポーター養成講座受講者数		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称	
	住み慣れた自宅や地域で暮らし続けるための取組の推進度合いを測る指標です。現状は、平成30年度までに実施した認知症サポーター養成講座受講者数です。目標は、令和7年度までに毎年2,500人の増加を目指します。	目標(令和7年度) 38,000人(累計)	実績	23,617人	24,874人	26,154人	27,976人				認知症施策推進事業
			達成率	62.2%	65.5%	68.8%	73.6%				
	現状(平成30年度までの累計) 20,365人【参考値】	目標指標達成度	B	B	B	B					

特記事項	第9期所沢市高齢者福祉計画(令和6年度から令和8年度)では、策定時に目標人数を見直し、31,500人(累計)とした。
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート

第2章 早期発見・支援

第2節 精神疾患 (2)うつ病・統合失調症等

今後の市の方向性	(1) 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムを推進します。 (2) 精神疾患やこころの健康問題に関する情報提供を進めます。 (3) 関係機関と連携し、相談窓口の周知を図ります。
----------	---



主な取組	課名	関係事務事業名称
(1) 自立支援協議会こころ部会において、精神保健福祉、子ども福祉、高齢者福祉の関係機関職員による意見交換を行った。本市における精神保健福祉の課題を共有し連携体制の検討を通じて、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムを推進した。 【令和5年度実績】 11回 193人参加	健康管理課	精神保健事業
(2) 所沢こころの美術展および、こころの健康講座を実施し精神保健福祉に関する知識の普及と、精神障害者が健やかに暮らせる社会づくりの推進を図った。 【令和5年度実績】 所沢こころの美術展:5日間 3,254人来場 こころの健康講座:6回 251人参加 セミナー動画配信:14回 視聴回数:2,301回	健康管理課	精神保健事業
(3) 精神保健福祉に関する支援が必要な方に対して、適切な支援が届くために関係機関と連携し相談窓口などの周知を図った。	健康管理課	精神保健事業

指標名	こころの健康講座等参加者数				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称
目標指標	精神障害及び精神障害者に対する市民の理解と知識の高まりを測る指標です。現状は、平成30年度の参加者数です。目標は、令和7年度までに3,425人を目指します。	目標(令和7年度)	実績	2,898人	3,343人	3,099人	3,505人			精神保健事業	
		3,425人	達成率	84.6%	97.6%	90.5%	102%				
		現状(平成30年度【参考値】)	目標指標達成度	A	S	A	S				
		2,974人									

特記事項	
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート

第2章 早期発見・支援

第3節 自殺対策 (1) 市民一人ひとりの気づきと見守り

今後の市の方向性	(1) 自殺予防に関する正しい知識の普及啓発を図ります。 (2) うつ病や依存症についての普及啓発を図ります。
----------	--



	主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	(1) ホームページでうつ病や自殺対策に関する情報を発信した。また高校生を対象とした精神科医師による相談会を実施するなど、自殺防止対策に繋がる取組みを進めた。広報とこざわ3月号の保健センター通信では、『「無理をしない」がちょうど良い季節』というタイトルで自殺予防関連のコラムを掲載し自殺防止に関する普及啓発を図った	健康管理課	精神保健事業
	(2) うつ病講座『心の不調との付き合い方』というテーマで講演会を実施し普及啓発を図った。 【令和5年度実績】 21人参加 (2月26日)	健康管理課	自殺防止対策にかかる普及啓発事業

目標指標	指標名	自殺死亡率	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称		
	自殺総合対策大綱における国の数値目標は、令和7年の厚生労働省「人口動態統計」に基づく自殺死亡率を平成27年(16.9人)に比べ30%以上減少させるとしています。現状は、平成29年度の死亡率です。目標は、令和7年度までに11.8人を目指します。	目標(令和7年度)	11.8人	実績	18.3人	11.6人	18.0人	15.7人			自殺防止対策にかかる啓発事業
		達成率	64.5%	101.7%	65.6%	75.2%					
現状(平成29年度実績)	16.3人	目標指標達成度	B	S	B	B					

特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 本項目については以下の計算式によって達成率を算出しています。 (11.8人(【目標】R7年度) / 15.7人(【実績】R5年度) × 100 = 75.2% 目標指標については、小項目(1) 市民一人ひとりの気づきと見守り～(4) ところの健康づくりで共通のため、小項目(1) 市民一人ひとりの気づきと見守りに記載しています。
------	---

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート

第2章 早期発見・支援

第3節 自殺対策 (2) 相談支援

今後の市の方向性	(1) 相談体制及び情報発信の充実を図ります。 (2) 生活困窮者等への相談窓口の充実を図ります。 (3) 相談支援に対応する関係職員の資質向上を推進します。
----------	---



	主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	(1) 電話や訪問、メール相談など相談体制の充実を図った。また所沢市こころの健康ガイドブック「はあとこがいど」を市民などに配布し、広報ところざわ「保健センター通信」では精神科医師による相談会や精神疾患別のつどい、自死遺族会などの日程を掲載し情報発信の充実を図った。	健康管理課	精神保健事業
	(2) 社会福祉協議会で毎月開催される生活困窮に関する支援調整会議に出席し、個別支援の充実を図った。	健康管理課	精神保健事業
	(3) 自立支援協議会こころ部会において、精神保健福祉の相談支援に関係する職員を対象とした会議を実施し、情報共有と顔の見える連携づくり及び関係職員の資質向上を推進した。 【令和5年度実績】こころ部会全体会 4回実施 212人参加	健康管理課	精神保健事業

特記事項	目標指標については、小項目(1)市民一人ひとりの気づきと見守り～(4)こころの健康づくりで共通のため、小項目(1)市民一人ひとりの気づきと見守りに記載しています。
------	---

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート

第2章 早期発見・支援

第3節 自殺対策 (3) 生きることへの支援の充実

今後の市の方向性	(1)	児童生徒の悩みを理解し、支援を届けます。
	(2)	女性及び子育て世代の悩みを理解し、支援を届けます。
	(3)	高齢者・障害者及び家族の悩みを理解し、支援を届けます。



		主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	(1)	各学校では、校長のリーダーシップの下、担任や教育相談主任を中心に、スクールカウンセラー等を積極的に活用し、教育相談体制の一層の充実に取り組んだ。 令和5年度は、学校教育課健やか輝き支援室では724件、教育センターでは6,856件の児童生徒・保護者等からの相談に応じ、助言を行った。(以上の件数は自殺の内容に限定しない合計件数)	学校教育課 教育センター	健やか輝き支援事業 心のエネルギープロジェクト 教育相談事業
	(2)	関係機関と連携し、妊娠初期から子育て期にわたり、切れ目のない支援のための相談体制を構築し支援を届けた。	健康づくり支援課	妊娠・出産つづけてサポート事業 母子健康教育・相談事業
	(3)	精神保健相談において、障害当事者及びその家族などからの相談に応じ、適切な支援機関や家族会等の紹介や連絡調整を行った。	健康管理課	精神保健事業

特記事項	目標指標については、小項目(1)市民一人ひとりの気づきと見守り～(4)こころの健康づくりで共通のため、小項目(1)市民一人ひとりの気づきと見守りに記載しています。
------	---

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート

第2章 早期発見・支援

第3節 自殺対策 (4)こころの健康づくり

今後の市の方向性	(1) 難病患者等の悩みや不安の解消を図ります。 (2) 職場におけるメンタルヘルス対策を支援します。 (3) 思春期の生徒への相談体制の充実を図ります。
----------	---



	主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	(1) 「脊髄小脳変性者症のつどい」を4回実施し、当事者と家族同士の交流を図った。	健康づくり支援課	機能訓練事業
	(2) 埼玉県との共催で、「埼玉県労働セミナー」を開催し、事業主・人事労務担当者・勤労者等を対象とした、労働法の基礎セミナーを対面方式で行った。その中でメンタルヘルスに関する内容を組み込み、25名が受講した。また、当セミナーに関するチラシを窓口や各種セミナー等で配架するなどメンタルヘルス対策を支援した。	産業振興課	労働セミナー・労働相談等開催事業
	(3) メンタルヘルスの不調を抱える高校生とその家族を対象とした精神科医師による相談会を実施した。 【令和5年度実績】 思春期こころの健康相談 11回実施 相談件数 23件	健康管理課	精神保健事業 自殺防止にかかわる普及啓発事業

特記事項	目標指標については、小項目(1)市民一人ひとりの気づきと見守り～(4)こころの健康づくりで共通のため、小項目(1)市民一人ひとりの気づきと見守りに記載しています。
------	---

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート(案)

第3章 医療提供体制

基本方針	市民がいつでも安心して医療の提供を受けられるよう、救急医療体制や地域医療・在宅医療提供体制の整備に努めます。
------	--

第1節 小児医療・周産期医療 (1)小児救急医療(初期・二次)

今後の市の方向性	(1) 所沢市医師会や所沢市市民医療センター等と連携し小児救急医療に関するわかりやすい情報提供を行います。 (2) 小児救急医療(初期・二次)を安定的に提供できる体制づくりを推進するため、埼玉県や関係市等と連携を図ります。 (3) 救急医療体制や救急車の適正利用等について周知啓発等に努めます。
----------	---



	主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	(1) 所沢市医師会による「休日急患当番医」、「小児科日曜日・祝休日診療」や所沢市市民医療センターによる「小児急患診療(夜間、深夜帯、日曜日、祝休日)」に関する情報を、「健康ガイドところざわ」、広報紙や市ホームページに掲載し、小児救急医療体制の情報提供を図った。	保健医療課	在宅当番医制実施事業 小児科救急医療病院群輪番制事業
	(2) 入院や手術を必要とする重症救急患者に対応するため、平日及び土曜日の夜間、祝休日について、所沢地区(所沢市、狭山市、入間市)の医療機関の協力により小児科救急医療病院群輪番制を実施した。	保健医療課	小児科救急医療病院群輪番制事業
	(3) 「健康ガイドところざわ」、広報紙や市ホームページを通じて、チャット形式で気軽に相談できる「埼玉県AI救急相談」や、埼玉西部消防局による休日夜間病院案内等の救急医療について市民への周知を図った。また、昨年度に引き続き、全国共通ダイヤル(＃7119)に関するカードを保健センターに配架し、市民への周知啓発に努めた。	保健医療課	小児科救急医療病院群輪番制事業

目標指標	指標名	小児科救急医療病院群輪番制の実施状況		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称
	入院や手術を必要とする小児の重症患者に対応する第二次救急医療体制の実施状況を示す指標です。現状は、火曜日から土曜日の夜間及び日曜日(第4、第5日曜日を除く)の昼間、祝休日・年末年始で実施しています。目標は、令和7年度までにすべての曜日・時間帯での実施を目指します。	目標(令和7年度) 充実	実績	改善	改善	充実	充実			
現状(平成30年度実績) 実施	達成率	目標指標達成度	◎	◎	◎	◎				

特記事項	目標指標達成度「◎」 小児科救急医療病院群輪番制において、令和4年8月以降、担当医不在日が解消された。
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート(案)

第3章 医療提供体制

第1節 小児医療・周産期医療 (2) 周産期医療充実のための関係機関との連携

今後の市の方向性	(1) 周産期医療の母子に対する健康管理や健康相談、医療情報等の周知に努めます。 (2) 周産期医療充実のため、狭山保健所や埼玉県西部保健医療圏の各市、関係機関との連携を図ります。
----------	---



	主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	(1) よりきめ細かい支援を行うため、令和5年度から妊娠届出の窓口を子育て世代包括支援センター「かるがも」に一本化し、助産師・保健師による面談の実施体制を強化し、妊娠期から様々な相談に対応するとともに相談先や正しい知識、子育て支援等の情報を周知した。また、産後に心身の不調や育児不安を抱えた母親に対して産後ケア事業を実施し、病院やデイサービス施設で心身のケアや育児サポート等のきめ細かい支援を行った。	健康づくり支援課	妊娠・出産つづけてサポート事業 産後ケア事業(デイサービス型) 産婦健康診査助成事業
	(2) 埼玉県市町村保健師協議会母子部会に参加し、狭山保健所管内の産科医療機関及び近隣市町村との連携調整会議で情報交換を行い、産科医療機関と自治体との連携を深めた。また、産科医療機関と連携し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行った。	健康づくり支援課	妊娠・出産つづけてサポート事業

目標指標	指標名	産婦人科・周産期医療問題協議会会議への参加		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称	
	所沢市産婦人科・周産期医療問題協議会会議への参加状況を示す指標です。引き続き、会議へ参加して産婦人科・周産期医療について市内医療機関、行政機関等と情報共有及び課題の把握に努めます。	目標(令和7年度)継続	実績	—	—	—	—	—	—		—
		達成率	—	—	—	—	—	—	—		
現状(平成30年度実績)継続	目標指標達成度	—	—	—	—	—	—	—	—		

特記事項	目標指標実績・達成度「一」 新型コロナウイルス感染拡大予防の影響により、目標指標である「産婦人科・周産期医療問題協議会」の開催が見送られた。
------	---

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート(案)

第3章 医療提供体制

第2節 救急医療 (1) 初期救急医療体制

今後の市の方向性	(1) 所沢市医師会や埼玉西部消防局等と連携し、救急医療の受診などに関するわかりやすい情報提供に努めます。 (2) 所沢市医師会、歯科医師会、薬剤師会と協力し、引き続き在宅当番医制及び休日緊急歯科診療を実施します。 (3) 救急医療体制や救急車の適正利用について周知啓発等に努めます。
----------	--



令和5年度主な取組実績	主な取組		課名	関係事務事業名称
	(1)	所沢市医師会による「休日急患当番医」や埼玉西部消防局による「休日夜間病院案内」、埼玉県による「埼玉県AI救急相談」などの情報を「健康ガイドとろざわ」、広報紙や市ホームページに掲載し、救急医療の情報提供を行った。	保健医療課	救急医療の受診に関する情報提供
(2)	所沢市医師会の協力のもと、休日急患当番医制を実施し、休日及び祝休日の初期救急患者(外来の軽症患者)への医療体制の確保に努めた。また、所沢市薬剤師会が実施している「休日当番薬局」を市ホームページに掲載し、市民への情報提供を行った。	保健医療課	在宅当番医制実施事業	
	指定管理者である所沢市歯科医師会が管理・運営している「歯科診療所あおぞら」で休日緊急歯科診療を実施した。		歯科診療所事業	
(3)	「健康ガイドとろざわ」の救急医療のページ、広報紙や市ホームページを通じて、救急医療やチャット形式で気軽に相談できる「埼玉県AI救急相談」と、埼玉西部消防局による休日夜間病院案内等について情報提供を行った。また、引き続き、全国共通ダイヤル(＃7119)に関するカードを保健センターに配架し、ポスターの掲示とともに市民への周知啓発に努めた。	保健医療課	救急医療の受診に関する情報提供	

目標指標	指標名	在宅当番医制の実施状況		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称		
	入院を必要としない軽症の救急患者に対応する初期救急医療体制の実施状況を示す指標です。一般の医療機関が診療を行っていない祝休日及び年末年始の初期救急医療体制の安定提供のため今後も維持に努めます。	目標(令和7年度)	実績	継続	継続	継続	継続					在宅当番医制実施事業
		達成率										
現状(平成30年度実績)	目標指標達成度		○	○	○	○						

特記事項	
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート(案)

第3章 医療提供体制

第2節 救急医療 (2) 第二次救急医療体制

今後の市の方向性	(1) 所沢市医師会や埼玉西部消防局等と連携し、救急医療の受診などに関するわかりやすい情報提供に努めます。 (2) 関係市や医療機関と協力し、引き続き第二次救急医療体制を実施します。
----------	--



	主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	(1) 市ホームページに埼玉県内及び市内のAED(自動体外式除細動器)設置状況や使い方、埼玉西部消防局で実施する救命講習会、応急手当講習及び埼玉西部消防局が作成した「救急受診ガイド」の情報を掲載し、市民への普及啓発を行った。	保健医療課	救急医療の受診に関する情報提供
	(2) 入院や手術を必要とする重症救急患者に対応するため、平日及び土曜日の夜間、祝休日について、所沢地区(所沢市、狭山市、入間市)内の医療機関の協力により病院群輪番制を実施した。 また、狭山保健所が開催する「西部地域保健医療・地域医療構想協議会」及び「所沢地区救急医療対策協議会」に参加し、関係市や関係機関と課題等について情報共有を図った。	保健医療課	小児科救急医療病院群輪番制事業 所沢地区病院群輪番制病院運営事業

目標指標	指標名	所沢地区病院群輪番制の実施状況		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称
	入院や手術を必要とする重症救急患者に対応する第二次救急医療体制の実施状況を示す指標です。現状は、月曜日から土曜日の夜間及び祝休日・年末年始で実施しています。目標は、引き続き、輪番制を実施している医療機関に協力いただき、所沢地区(所沢市・入間市・狭山市)において、平日夜間及び祝休日・年末年始の救急医療の安定提供のため、今後も維持に努めます。	目標(令和7年度) 継続	実績	継続	継続	継続	継続	継続		
達成率	現状(平成30年度実績) 継続	目標指標 達成度	○	○	○	○				

特記事項	R5.12.1以降、水曜日の所沢地区病院群輪番制による第二次救急医療体制が2医療機関から4医療機関へ整備された。
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート(案)

第3章 医療提供体制

第3節 地域医療 (1) 地域医療の充実

今後の市の方向性	(1) 保健・医療・介護・福祉が連携し、地域医療の充実を図ります。 (2) 関係機関と連携し、医療に関するわかりやすい情報を提供します。 (3) 市民一人ひとりが、地域で安心して生活を送ることができる体制づくりを目指します。 (4) 講演会等を通じて、地域医療に関する様々な情報を市民へ普及啓発します。
----------	--

主な取組		課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	専門職間の顔の見える関係づくりや在宅医療・介護連携における課題抽出、研修等を目的とした医療介護連携会議を市内全ての地区(6ブロック)で開催し、認知症の方への支援における多職種連携の在り方について協議する等、在宅医療・介護連携の更なる推進に向けて取り組んだ。	高齢者支援課	在宅医療・介護連携推進事業
	(1) 在宅で過ごす障害児者については、訪問やサービス担当者会議を通じて関係機関との情報共有や連携に努めた。また、入院している医療的ケア児者については、医療機関からの要請等に応じて退院時カンファレンスに出席し、他課と連携を図りながら相談や情報共有に努めた。	子ども福祉課	障害児相談支援事業
		障害福祉課	相談支援事業
	後期高齢者の保健事業と介護予防に関わる部門と連携し、疾病の重症化予防と介護予防を包括的に支援する仕組みづくりを行った。また、疾病の重症化予防対策として医師会と共同で作成した連絡票を活用し、医療機関への受診勧奨を行った。	国民健康保険課	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業
	(2) 「健康ガイドとこざわ」の救急医療のページ、広報紙や市ホームページを通じて、救急医療やチャット形式で気軽に相談できる「埼玉県AI救急相談」について市民への周知を図った。また、全国共通ダイヤル(＃7119)に関するカードを保健センターに配架し、ポスターの提示とともに情報提供を行った。	保健医療課	救急医療の受診に関する情報提供
(3) 所沢市医師会の協力のもと、休日急患当番医制を実施し、祝休日の初期救急患者(外来の軽症患者)の医療体制の確保に努めた。また、入院や手術を必要とする重症救急患者に対応するため、所沢地区(所沢市、狭山市、入間市)内の医療機関の協力により、平日及び土曜日の夜間、祝休日の昼間について、所沢地区病院群輪番制を、また、小児救急医療体制として、月曜日から土曜日の夜間、祝休日について小児科救急医療病院群輪番制を実施した。	保健医療課	在宅当番医制実施事業 所沢地区病院群輪番制病院運営事業 小児科救急医療病院群輪番制事業	
(4) 在宅医療・介護について、市作成のパンフレット「知っておきたい在宅療養」を活用した周知や市民向け講演会(令和5年11月12日:自分らしい最期を考える講演会)を実施するなど、市民へ普及啓発を行った。	高齢者支援課	在宅医療・介護連携推進事業	

目標指標	指標名	所沢准看護学院・所沢看護専門学校卒業生(合格者)の市内就職率							関係事務事業名称	
	市内の准看護学院・看護専門学校卒業生で准看護師又は看護師試験の合格者のうち市内での就職を通じて地域医療の充実に関する取組状況を示す指標です。現状は、平成29年度の割合です。目標は、令和7年度までに50%を目指します。	目標(令和7年度)	実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		50.0%	達成率	101.6%	108.4%	111.4%	106.4%			
	現状(平成29年度【参考値】)	目標指標達成度	S	S	S	S				

特記事項	
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート(案)

第3章 医療提供体制

第3節 地域医療 (2)在宅医療の推進

今後の市の方向性	(1)	保健・医療・介護・福祉が連携を図り、在宅医療の推進に努めます。
	(2)	関係機関と連携し、わかりやすい在宅医療に関する情報を提供します。



		主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	(1)	専門職間の顔の見える関係づくりや在宅医療・介護連携における課題抽出、研修等を目的とした医療介護連携会議を市内6ブロックで開催し、認知症の方への支援における多職種連携の在り方について協議する等、在宅医療・介護連携の更なる推進に向けて取り組んだ。	高齢者支援課	在宅医療・介護連携推進事業
	(2)	在宅医療・介護について、市作成のパンフレット「知っておきたい在宅療養」を活用した周知や市民向け講演会(令和5年11月12日:自分らしい最期を考える講演会)を実施するなど、市民へ普及啓発を行った。	高齢者支援課	在宅医療・介護連携推進事業
		在宅医療に向けた案内として、「埼玉県がんサポートハンドブック(地域の療養情報)」、「がんワンストップ相談【がん患者の就労支援(埼玉県)】」、「がん相談支援センター(埼玉県)」やアビアランスケア、AYA世代のがんとくらしサポートなどの情報を市ホームページに掲載し、情報提供を行った。	保健医療課	所沢市保健医療計画推進事業

目標指標	指標名	在宅医療に関する講演会の開催		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称
	在宅医療の推進に関する指標です。在宅医療に関する講演会を開催し、市民への在宅医療に関する知識の普及啓発を図ります。目標は、引き続き、講演会の開催を継続するものです。	目標(令和7年度)継続	実績	—	—	—	実施			
現状(平成30年度実績)継続	目標指標達成度	達成率	—	—	—	○				

特記事項	
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート(案)

第3章 医療提供体制

第3節 地域医療 (3)リハビリテーション

今後の市の方向性	(1) 保健・医療・介護・福祉にわたるリハビリテーションの連携及び市内リハビリテーション専門職への情報共有を図ります。 (2) 医療機関で実施されるリハビリテーションの情報把握に努めるとともに、市民への情報提供を図ります。 (3) 小児のリハビリテーションを必要とする方に対し、リハビリテーションを実施可能な病院案内や相談対応などの支援に努めます。
----------	--



令和5年度 主な取組実績	主な取組		課名	関係事務事業名称
	(1)	保健・医療・福祉分野で、小児のリハビリテーションに携わるリハビリ職と情報共有を図った。	健康づくり支援課	機能訓練事業
(2)	医療機関で実施されている訓練状況を把握し、理学療法士による相談を通して、相談者に合わせた情報提供や運動指導を実施した。	健康づくり支援課	機能訓練事業	
(3)	訪問等によりこどもの状況を確認し、必要に応じてリハビリテーションが可能な専門機関を紹介した。	健康づくり支援課	母子健康教育・相談事業	
		こども福祉課	障害児相談支援事業	

目標指標	指標名	リハビリテーションに関する市民への情報提供		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称		
	リハビリテーションに関する情報提供の取組状況を示す指標です。引き続き、リハビリテーションに関する情報把握に努めるとともに、市民への情報提供を図ります。	目標(令和7年度)	実績	継続	継続	継続	継続					機能訓練事業
		継続	達成率									
現状(平成30年度実績)	目標指標達成度		○	○	○	○						

特記事項	
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート(案)

第4章 市の公立医療機関の役割

基本方針	本市が設置している「所沢市市民医療センター」と「所沢市歯科診療所あおぞら」は、公立医療機関としての役割を果たすため、関係機関と連携して地域医療の充実を図ります。
------	--

第1節 所沢市市民医療センター (1)地域医療・在宅医療への対応

今後の市の方向性	(1) 地域完結型の医療提供体制の推進を図ります。 (2) 医療機関や高齢者福祉施設等との連携を図ります。
----------	--



令和5年度 主な取組実績	主な取組		課名	関係事務事業名称
	(1)	地域住民の新たな医療ニーズや在宅生活を支えていくため、令和5年8月に地域包括ケア病床を11床から13床に増床し、入院患者に対して介護サービスの導入支援、リハビリ等、在宅復帰のための支援を行った。 【令和6年3月末実績】在宅復帰率 82.9%	市民医療センター	入院事業
	所沢市市民医療センター再整備基本構想を具体化するため、再整備後の医療機能や経営形態等の検討を行い、再整備基本計画を策定した。また、総務省から示された公立病院の経営強化に向けたガイドラインに基づき、経営強化プランを策定した。	市民医療センター	所沢市市民医療センター再整備基本計画・経営強化プラン策定事業	
(2)	「地域連携室」において、入退院に関する相談や在宅医療に関する相談、関係機関との調整、連携などの役割を担った。 【令和5年度実績】 相談業務:15,399件(前年度比+1,115件) 予約業務:880件(前年度比+41件) 調整業務:5,766件(前年度比+403件)	市民医療センター	入院事業	

目標指標	指標名	他の医療機関等からの紹介入院受け入れ体制の充実						関係事務事業名称		
	所沢市市民医療センターと近隣の医療機関等との連携体制を示す指標です。地域連携室に看護師、医療ソーシャルワーカー、事務補助職員を配置することにより、平日昼間は近隣の医療機関からの入院依頼に対して円滑な入院受け入れ体制の充実を図ります。	目標(令和7年度)充実	実績	継続	継続	継続	継続			入院事業
		達成率								
現状(平成30年度実績)継続	目標指標達成度	○	○	○	○					

特記事項	
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート(案)

第4章 市の公立医療機関の役割

第1節 所沢市市民医療センター (2)小児急患診療

今後の市の方向性	(1)	小児初期救急医療体制の安定的な提供に努めます。
----------	-----	-------------------------



		主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	(1)	<p>新型コロナウイルス感染症が5類移行後、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎やインフルエンザ等の感染症が拡大したなか、所沢市市民医療センター常勤医師のほか、非常勤医師及び所沢市医師会からの派遣医師と連携し、所沢市域全体で小児初期救急医療体制を安定的に実施した。</p> <p>【令和5年度実績】 所沢市市民医療センター小児科受診者数 平日昼間:27,448人 夜間:2,851人 深夜:1,311人 日曜日及び休日:5,328人 合計 36,938人</p>	市民医療センター	小児初期救急医療体制推進事業

目標指標	指標名	小児初期救急医療体制の維持	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称																	
	所沢市の小児初期救急医療の体制整備を示す指標です。引き続き、所沢市域全体で365日昼間、夜間、深夜のすべての時間帯での小児初期救急医療を提供できるよう体制を維持するものです。	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">目標(令和7年度)</td> <td>継続</td> <td>実績</td> <td>継続</td> <td>継続</td> <td>継続</td> <td>継続</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td>目標指標達成度</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	目標(令和7年度)	継続	実績	継続	継続	継続		継続			達成率		目標指標達成度	○	○	○	○			継続	継続	継続	継続	
目標(令和7年度)	継続	実績	継続	継続	継続	継続																				
達成率		目標指標達成度	○	○	○	○																				

特記事項	
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート(案)

第4章 市の公立医療機関の役割

第1節 所沢市市民医療センター (3) 健診事業

今後の市の方向性	(1) 疾病の早期発見と早期治療に努めます。 (2) 検診内容の充実を図ります。
----------	---



	主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	(1) 人間ドック等の健診事業において、多くの受診者を受け入れた。(15,349人) また、当センターにおいて2次検査が可能な対象者(延べ1,069名)に対して精密検査の受診を促した。	市民医療センター	健診事業
	(2) ・感染症対策として健診会場内の物品の消毒や、密回避のための受付時間の分散、また、受診者にマスクの着用を促し、継続的に実施した。 ・毎月第3金曜日にレディースデーを実施した。健診スタッフも可能な限り女性を配置し、リラックスして健診を受けられる環境を整備した。	市民医療センター	健診事業

目標指標	指標名	精密検査を指示された方への受診勧奨通知の送付		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称
	疾病の早期発見、治療に関する取組を示す指標です。人間ドック及び一般検診で精密検査を指示された方に対して、約2か月後に所沢市市民医療センターから受診勧奨通知を送付し、精密検査の未受診をなくし適切な医療を受けられるよう事後フォローするものです。	目標(令和7年度) 継続	実績	継続	継続	継続	継続	継続		
現状(平成30年度実績) 継続	目標指標 達成度	○	○	○	○					

特記事項	
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート(案)

第4章 市の公立医療機関の役割

第2節 所沢市歯科診療所あおぞら (1) 所沢市歯科診療所あおぞら

今後の市の方向性	(1) 在宅要介護高齢者歯科診療と心身障害児者歯科診療の情報提供に努めます。 (2) 所沢市歯科診療所あおぞらの受診者への利便性の向上を図ります。 (3) 受診者の状態に応じて、地域の歯科診療所や医療機関との連携を図ります。
----------	--



令和5年度 主な取組実績	主な取組		課名	関係事務事業名称
	(1)	広報紙や市ホームページ及び指定管理者である所沢市歯科医師会で作成したあおぞらのホームページにより、市民に対し各診療の情報提供を行った。	保健医療課	歯科診療所事業
(2)	休日緊急歯科診療(令和5年10月～11月に1回)の患者に対してアンケートを実施し、利用者の要望等の把握に努めた。また、所沢市医師会、所沢市歯科医師会、障害者団体等の代表者で構成する「所沢市歯科診療所あおぞら会議」を開催し、あおぞらの診療等について意見交換を行い、指定管理者である所沢市歯科医師会と情報を共有した。新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後も、患者の検温、ビニールカーテンや手指消毒用アルコールの設置、換気の実施及び患者間の接触を避けるための診療枠の見直し等、徹底した感染対策を実施した上で診療を継続した。	保健医療課	歯科診療所事業	
(3)	所沢市歯科医師会が保健センター内に所沢地区在宅歯科医療推進窓口を設置し、在宅歯科医療に関する相談を受けたり、訪問診療を行う歯科医院等の紹介をしている。また、歯科診療所あおぞらでの対応が必要な患者については、適切な対応を行った。	保健医療課	歯科診療所事業	

目標指標	指標名	所沢市歯科診療所あおぞらの障害児者歯科診療の受診者数		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称
	障害児者歯科診療を必要としている方の認知度からくる診療実績を測るための指標です。現状は、平成30年度の受診者数です。目標は、診療を必要とする方への情報提供に努め、令和7年度までに受診者数850人以上を目指します。	目標(令和7年度) 850人	実績	580人	689人	661人	674人			
現状(平成30年度【参考値】) 815人	目標指標達成度	達成率	68.2%	81.1%	77.8%	79.3%				

特記事項	
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート(案)

第5章 健康危機管理

基本方針	健康危機に関する情報を迅速かつ的確に収集し、市民に対し正確な情報提供に努めるとともに、関係団体と連携し、保健活動・医療体制の整備を目指します。
------	---

第1節 感染症対策 (1) 国・県等の取り組みの情報収集・情報提供

今後の市の方向性	(1) 感染流行期や拡大時に適切な状況把握を行うため、関係機関との連携強化を図ります。 (2) 感染症に関する情報収集や情報提供を的確かつ迅速に行います。 (3) 自らできる感染症対策の啓発を図ります。
----------	---



	主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	(1) 狭山保健所を通じ、埼玉県内の感染症発生状況について、定期的に情報を把握し、必要に応じて狭山保健所と連携した。 ・平時からの健康危機管理体制の構築のため、職員間で毎週、感染症流行状況を共有した。	保健医療課	感染症対策
	(2) 感染症(新型インフルエンザ等を除く)の予防対策について、市ホームページ及びところざわほっとメールで広く市民に情報提供を行った。 特に、感染症に関する流行注意報、警報が発令された際には、迅速に市ホームページやところざわほっとメールで注意喚起を行った。 【R5年度実績】インフルエンザ・A群溶血性レンサ球菌・咽頭結膜熱	保健医療課	感染症対策
	(3) 保健センターの各種教育や相談事業、出張講座、地区活動等において、新型コロナウイルス等感染症の予防対策についてリーフレットやチラシを広く配布し、市民に対して周知啓発を図った。 インフルエンザや咽頭結膜熱等の流行警報発令時に市ホームページ等で、自らできる感染症対策として咳エチケットについて広く周知啓発を図った。	健康づくり支援課 保健医療課	成人健康教育・相談事業 地域保健推進事業 新型コロナウイルス感染症防止対策

目標指標	指標名	感染症の流行に関する情報の発信		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称
	感染症に関する情報について、市民が自ら予防・感染症拡大防止の対策をとるための情報の周知についての指標です。収集した情報を迅速に発信し、市民が対策をとれるよう今後も継続実施するものです。	目標(令和7年度) 継続	実績 達成率	継続	継続	継続	継続	継続		
	継続	目標指標 達成度	○	○	○	○				

特記事項	
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート(案)

第5章 健康危機管理

第1節 感染症対策 (2) 新型コロナウイルス等対応

今後の市の方向性	(1)	引き続き、新型コロナウイルス等対策に関する周知を図ります。
	(2)	平常時から、新型コロナウイルス等の発生時を想定した体制整備を図ります。

		主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	(1)	令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」に移行したことに伴い、埼玉県が実施している「新型コロナ後遺症外来」や受診に関する相談窓口である「埼玉県コロナ総合相談センター」について、市ホームページを見直す等の対応を行い、周知を図った。	保健医療課	在宅当番医制実施事業 新型コロナウイルス感染症防止対策
		ゴールデンウィーク及び年末年始の期間に発熱等の症状が発生した場合の医療機関の受診方法について、所沢市内の休日急患当番医及び県が指定した埼玉県指定診療・検査医療機関に関する情報について、市のホームページやところざわほっとメール等で市民に周知を図った。		
	令和4年度に引き続き新型コロナウイルスワクチン接種を進め、5月8日より令和5年春夏接種、9月20日より令和5年秋冬接種を開始した。より多くの希望者が接種できるように、各医療機関での個別接種に加え、保健センター駐車場内でのバス接種を実施した。また、6、7回目接種、乳幼児(生後6か月から4歳)の追加接種など制度の変更に合わせた体制整備を行い、広報紙や市ホームページ等で情報提供を行った。 【令和6年3月末時点累計:ワクチン接種人数/接種率】 《1回目接種》(合計)288,221人/84.1% 《2回目接種》(合計)286,051人/83.5% 《3回目接種》(合計)243,587人/71.1% 《4回目接種》(合計)167,845人/49.0% 《5回目接種》(合計)105,518人/31.8% 《6回目接種》(合計)68,035人/20.5% 《7回目接種》(合計)46,555人/14.8%	健康管理課	新型コロナウイルスワクチン接種事業	
	埼玉県が実施している高齢者施設での新型コロナウイルス感染症発生施設調査(感染症看護専門看護師等の派遣)や狭小保健所が主催する「新型コロナウイルス感染症関係機関連携会議」等に参加し、今後の新型コロナウイルス等の発生時の対応について情報共有を行った。	保健医療課	新型コロナウイルス感染症防止対策	
	新型コロナウイルス感染症を始め、様々な疾患で自宅療養中の乳幼児に対し、健康観察で使用するための小児用パルスオキシメータの貸出を行った。 【令和5年度実績】小児用パルスオキシメータ貸出台数:6台			
	令和5年度に所沢市地域防災計画の全面改定を実施し、災害時の新型コロナウイルス感染症等への対策を含む内容を明記した。避難所となる小中学校等に感染症対策物品の備蓄を継続している。 新型コロナウイルス感染症について、主に以下の対応を行った。 ・5類移行後も、内科、小児科とも発熱外来を継続した。新型コロナウイルス以外にも、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎やインフルエンザによる発熱患者が例年より大きく増加し、積極的に発熱者の診療を受入れた。 ・5類移行後、新型コロナウイルス感染症軽症者の受け入れを開始し、自宅療養が困難な高齢者や、重症化リスクの高い患者の治療を行った。 ・退院基準を満たした患者の受け入れ可能な医療機関として、新型コロナウイルス感染症回復後、引き続き入院が必要な患者を受け入れた。 ・新型コロナウイルスワクチン従来(初回接種)を実施し、所沢市の接種体制の整備に協力した。また、令和5年度春夏接種、秋冬接種においても個別接種を実施した。	危機管理室	災害対策・指定避難場所整備事業	
新型コロナウイルス感染症が第5類に分類されたことに伴い、新型コロナウイルス等他の感染症と同様に平時からの備えの重要性を再認識し、保健センターの各種事業や会議、地区活動等において感染予防対策の啓発に広く努めた。	市民医療センター	地域医療体制支援事業		
			健康づくり支援課	成人健康教育・相談事業 地域保健推進事業

目標指標	指標名	新型インフルエンザ等対策訓練への参加・実施	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称
現状(平成30年度実績)継続	目標指標達成度	—	—	—	—	—	—	—	

特記事項	目標指標実績・達成度「—」 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応による業務ひっ迫のため、国・県による新型コロナウイルス等対策訓練は実施が見送られた。また、同様な理由で、例年、市で実施している目標指標である「新型インフルエンザ等対策訓練(市独自)」についても実施を見送った。
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート(案)

第5章 健康危機管理

第2節 災害時医療 (1)地域防災計画に基づく対応

今後の市の方向性	(1)	災害時に円滑な医療救護活動が実施できるよう努めます。
	(2)	災害時の医療体制確保のため、関係団体との連携強化を図ります。
	(3)	災害時の医薬品等の供給体制の整備に努めます。



令和5年度主な取組実績	主な取組		課名	関係事務事業名称
	(1)	所沢市市民医療センター、保健センター及び災害対策本部(本庁舎)等を結ぶ所沢市独自の無線網であり、災害時の通信手段となるデジタル移動系防災行政無線の通信訓練を毎月実施した。 ・専門的かつ多くの人員が必要となるため、非常時優先業務を個別の所管ではなく部全体で対応することを目的に、所沢市健康推進部非常時優先業務対応マニュアルを作成した。 ・防災訓練の日に参集訓練を実施した。	危機管理室 保健医療課	防災行政無線整備・管理事業 災害時の医療提供体制整備
(2)	狭山保健所主催の西部地区災害医療訓練に参加し、初動対応手順及び関係機関との連絡体制手順を確認し、現状の課題や問題点に関する情報を共有した。	危機管理室 保健医療課	災害対策・指定避難場所整備事業	
(3)	所沢市薬剤師会に、所沢市防災会議の委員を委嘱し、災害時の連携強化を図った。	危機管理室	災害対策・指定避難場所整備事業	

目標指標	指標名	関係機関との連携強化		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称		
	災害時に適切な医療体制を整えるための指標です。災害時に円滑に医療救護活動が行われるよう関係機関と情報を共有し連携を強化して取り組みます。	目標(令和7年度) 充実	実績	継続	継続	継続	継続					災害時応援協定締結事業
		達成率										
現状(平成30年度実績) 継続	目標指標 達成度		○	○	○	○						

特記事項	
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート(案)

第5章 健康危機管理

第2節 災害時医療 (2)災害時の保健活動

今後の市の方向性	(1) (2)	関係機関と連携し、災害時の栄養管理や歯科口腔衛生を含めた保健活動に関する情報収集を行います。 災害時の感染症の流行や持病の悪化などの二次的被害に備えた連携の強化・災害時の保健活動の推進に向け、体制の整備を図ります。
----------	------------	--



		主な取組	課名	関係事務事業名称
令和5年度 主な取組実績	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に連携して速やかに活動を行うために作成された、健康推進部非常時優先業務対応マニュアルならびにBCP対策シートについて確認と見直しを行った。 ・令和6年の能登半島地震発生後、現地に応援派遣された看護師による防災セミナーを危機管理室と協力して開催し、災害支援について学びを深めた。併せて、狭山保健所や他自治体等から保健活動について情報収集し、提供を受けた内容について、専門職間で共有を図った。 	健康づくり支援課	災害時保健活動体制整備事業
	(2)	災害対策支部となるまちづくりセンターに、災害時保健活動に必要な物品を配備し消耗品等の確認を行った。また、保健センターにおいて、アクションシートを活用した職員の防災訓練を実施した。	健康づくり支援課	災害時保健活動体制整備事業

目標指標	指標名	災害時の保健活動の初動体制		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	関係事務事業名称		
	災害時に迅速かつ組織的な保健活動を開始するための指標です。市の保健師により、「(仮称)災害時保健活動初動マニュアル」策定を進め、市の関係部署と情報共有し、連携して取り組みます。	目標(令和7年度)実施	実績	改善	実施	実施	実施	実施				災害時保健活動体制整備事業
		現状(平成30年度実績)未実施	目標指標達成度	◎	○	○	○					

特記事項	
------	--

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート

第6章 計画の円滑な推進

第1節 保健・医療・介護・福祉の連携

本章・本節は、以下にあげる「今後の市の方向性」に対する取り組みを計画全体を通して確認し、本委員会において総括的なコメントを記載することで、計画の基本目標達成に向けた、保健・医療・介護・福祉分野の、より一層の連携強化を目指すものとしています。

今後の市の方向性	(1) 医療・介護関係者間で情報を随時共有し、在宅医療・介護連携の強化を図ります。 (2) 健康保持・増進、疾病の予防・対策、特定健診・特定保健指導、母子保健事業、精神保健事業等を推進する上で、保健・医療・介護・福祉の関係機関等との連携体制の強化を目指します。 (3) 市民自らが自分の健康状態を知り、健康を意識しながら、日常生活を改善していくことを目指します。
----------	---



	主な取組	課名
令和5年度 主な取組実績	(1) 専門職間の顔の見える関係づくりや在宅医療・介護連携における課題抽出、研修等を目的とした医療介護連携会議を市内6ブロックで開催し、認知症の方への支援における多職種連携の在り方について協議する等、在宅医療・介護連携の更なる推進に向けて取り組んだ。	高齢者支援課
	保健・医療・福祉分野で、小児のリハビリテーションに携わるリハビリ職と情報共有を図った。	健康づくり支援課
	所沢市市民医療センターの「地域連携室」において、入退院に関する相談や在宅医療に関する相談、関係機関との調整及び連携の役割を担った。	市民医療センター
	医療機関や関係機関との会議(子育てネットワーク会議、市内産科医療機関連携会議、まちづくり協議会の子育て関連の部会、保健センター・こども相談センター・こども支援センター・教育センターでの4センター会議、こども家庭総合支援拠点連携会議等)への参加や、市内産科・小児科医療機関・保育園・幼稚園・児童館等と個別支援について共通認識と連携強化を図った。	健康づくり支援課
	(2) 児童生徒および保護者の相談に対応するため、各小中学校に心のふれあい相談員、スクールカウンセラーなどを配置し、児童生徒および保護者の相談に対応した(のべ22,694件)。相談内容に応じて、学校、教育委員会の各機関、そのほか児童相談所や警察署等の関係機関との連携・情報提供を行い、支援の充実に努めた。	学校教育課
	生活習慣病の早期発見を行うことが目的である特定健康診査の受診勧奨について、市民への周知を図るため、関係部署(衛生部門、商業農業部門、子育て部門)と連携し、ポスター掲示、チラシ配架、発行物への記事掲載を行った。	国民健康保険課

	(2)	<p>自立支援協議会こころ部会において、精神保健福祉、こども福祉、高齢者福祉の関係機関職員による意見交換を行い、本市での精神保健福祉における課題の共有と連携体制の確認を通じて、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムを推進した。 【令和5年度実績】11回 193人参加</p>	健康管理課
		<p>「小児急患診療」、「所沢地区病院群輪審制」、「小児科救急医療病院群輪審制」等、本市における救急医療体制維持のため、引き続き所沢市医師会、地域の医療機関、所沢市市民医療センター、所沢市薬剤師会、県や関係市等と協力・連携体制の強化に努めた。 また、狭山保健所が開催する「西部地域保健医療協議会」、「西部地域医療構想調整会議」及び「所沢地区救急医療対策協議会」に参加し、関係市や関係機関と課題等について情報共有を図った。</p>	保健医療課
		<p>在宅で過ごす障害児者については、訪問やサービス担当者会議を通じて関係機関との情報共有や連携に努めた。また、入院している医療的ケア児者については、医療機関からの要請等に応じて退院時カンファレンスに出席し、他課と連携を図りながら相談や情報共有に努めた。</p>	こども福祉課 障害福祉課
令和5年度 主な取組実績	(3)	<p>生涯を通してスポーツに親しみきっかけづくりとして以下の事業を開催し、市民自らの健康保持・増進への取組を推進した。 「さわやか健康体操教室」、「手軽に健やか体操教室」、「男性いつまでも元気体操教室」、「市民体力つくりラケットテニス大会」、「市民体力つくりころんウォーク」、「こどもスポーツフェア」、「親子3世代モルック体験会」、「親子スポーツフェア」、「親子で逆上がり教室」、「親子でなわとびチャレンジ」、「親子ティーボール教室」</p>	スポーツ振興課
		<p>保健センターの各種教育や相談事業、出張講座、地区活動等で、気軽に取り組める運動や望ましい生活習慣について周知啓発した。また、ポイントを貯めながら歩くこと等による健康づくりを支援する「トコトコ健幸マイレージ事業」を周知啓発し、市民の健康づくりを推進した。 また、保健センターの母親学級において、妊娠中の食生活を指導し個別に助言を行い、「産後ママクッキング」の調理実習において、産後の体調回復に良い食生活のための食育を推進した。</p>	健康づくり支援課
		<p>特定健診の結果に基づく特定保健指導として、情報提供・動機付け支援・積極的支援に階層化し、以下の支援や対応を行った。 (情報提供)要指導域対象者には、健康講座の案内し、要医療域対象者には受診勧奨通知を発送した。 (動機付け支援および積極的支援)「個別相談」「血管若返りセミナー」「気軽にシェイプ運動教室」「血管すっきり健康講座」などの特定保健指導事業を開催し、保健・栄養・運動の観点から自らの生活を振り返る機会を提供した。事業の未利用者に対しては、電話や訪問による利用勧奨や未利用者を対象とした「血管年齢測定」「栄養教室」「運動教室」を開催した。 また、健診結果を生かした生活習慣の改善を目的に「元気応援！健康講座2023」を実施し、参加者が健診結果と生活習慣の関係性を学び、自ら健康づくりの行動計画を立案・実践し、取り組んだ成果を次の健診で確認できるよう支援した。</p>	国民健康保険課

<p>熱中症による健康被害を市民自らが防いでいく行動を促すため、以下のとおり熱中症予防の周知啓発を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱中症警戒アラート発表時に防災行政無線、ところざわほっとメール及びLINE、のぼり旗による注意喚起を実施した。 ・広報紙(7月号)に熱中症予防対策に関する記事を掲載した。 ・熱中症に関する展示(マチごとエコタウン推進課と共同で2日間、単独で7日間)を実施した。 ・イベント会場等で塩タブレット等啓発資材を配布した。 	
<p>・新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛、運動不足、人との触れ合い機会の減少による健康二次被害防止のため、市民自らが日常生活の中で自分なりの「楽しみ(FUN)」をプラスして、「自然と歩数を増やす」「行動を変えていく」ことを目指し、「FUN+WALK～歩くことを楽しくもっと健幸に～」を掲げ、いつもの歩数にプラス1,000歩の実現を目指すため、(←削除)以下の具体的な取組を(←削除)市ホームページや広報紙を通じて周知した。</p> <p>・広報紙(7月号)に、いつもの歩数にプラス1,000歩を実施するための具体的な行動として、歩数を数える・歩きやすい服装にする・下りは階段を使う・少しだけ遠回りする・歩幅を10センチ広げてみる、ということを掲載した。</p> <p>【令和5年度実績】 本庁舎階段室に行動変容のためのポスターを掲示(12月・3月)</p>	保健医療課
<p>小中学校の保護者に対し「保健だより」や保護者会を通して「正しい生活リズム」について発信するとともに、学校保健委員会や児童生徒保健委員会でもテーマとして取り上げ、家庭での意識が向上するよう働きかけた。</p>	保健給食課

第2次保健医療計画令和5年度取組状況評価シート

第6章 計画の円滑な推進

第2節 計画の推進体制と進行管理

委員会コメント欄	<ul style="list-style-type: none">・第2次所沢市保健医療計画の進行管理については、PDCAサイクルの考え方にに基づき、市の関係部署による「所沢市保健医療計画庁内推進会議」において進捗状況を取りまとめ、その結果を、市民、関係機関、関係団体等の代表者、学識経験者等から構成する「所沢市保健医療計画推進委員会」において点検・評価を行い、適正な進行管理がなされている。・本計画の進捗状況を把握するため、各小項目に設定した目標指標の達成状況を管理するとともに、「今後の市の方向性」に対する取組状況についても確認し、必要に応じて意見等をいただきながら計画の推進に努めている。また、必要に応じて「委員会コメント欄」に評価を補足する内容を記載している。・本計画については、市民に周知するため、市ホームページや市政情報センターを通じて第2次所沢市保健医療計画を頒布している。また、計画の目標指標達成状況や「今後の市の方向性」に対する取組状況などを示した「第2次所沢市保健医療計画取組状況評価シート」を作成し、市ホームページを通じて情報発信している。・「第2次所沢市保健医療計画令和5年度取組状況評価シート」における「主な取組実績」について、令和5年度より新たに始めた取組については、該当箇所を下線で示すことで分かりやすくされており、各取り組み内容と合わせて確認した。・「第2次所沢市保健医療計画令和5年度取組状況評価シート」における目標指標達成度が未評価の項目については、令和4年度実績に引き続き新型コロナウイルス感染予防の影響により、目標指標が中止となったものであることを確認した。・新型コロナウイルス感染症の影響等、計画策定時とは状況が異なるため、DX(デジタル・トランスフォーメーション)の視点から、デジタル技術を活用した施策展開を引き続き検討いただきたい。・定性的な指標を目標としているシートについては、主な取組実績から、新たな取組など、進展している内容がうかがえた。一方で、会議等の開催や参加を目標指標に設定したことで、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標指標による評価ができないケースがあったため、次期計画策定時には現在の評価方法が適正か、市民にとってわかりやすいかを改めて検討していただきたい。・定量的な指標について、現状(=計画策定時点)から改善がなされるよう、今後の取組を実施いただきたい。
----------	--

第1章 健康の保持・増進

第1節 健康づくりの推進

「トコトコ健幸マイレージ事業」については、イベント参加者に対するポイントの付与や新設された道標への健康情報の提示など、他課事業と連携して歩数増加及び継続参加を促し、新たな取組を行っている点が評価できる。令和6年度のリニューアルに伴い、アプリ移行の手続きができず参加を諦めるなどの情報格差が起らないよう引き続き対策に努めていただきたい。
また、近年救急搬送者が増えている熱中症予防に対する様々な取組や、市民自らが楽しみながら自然と歩数を増やすことを促すFUN+WALK等の新たな取組も評価したい。

第2節 母と子の健康

妊娠届出を子育て世代包括支援センター「かるがも」に一本化し、専門職との面談により妊娠初期から様々な相談に対応していることは評価したい。
また、関係課と連携した「出産・子育て応援事業」により、ニーズに即した伴走型相談支援、出産・子育て応援ギフトの支給を行う経済的支援を新たに実施した点も評価できる。引き続き、継続した支援の実施に努めていただきたい。

第3節 栄養・食生活

各種栄養教室の開催等により、ライフステージごとの健康課題改善にむけた取組が実施されていることは評価したい。今後も継続に努めていただくとともに、栄養教室等に参加できなくとも、情報が得られるようパンフレットやインターネットサイトの活用等、引き続き周知啓発を図っていただきたい。

第4節 歯・口腔の健康

むし歯のない3歳児の割合の実績が、目標及び令和4年度実績と比較して上回っていることは評価できる。一方で、かかりつけ歯科医を持つ者の割合の実績は現状(平成30年度【参考値】)を、「なんでも噛んで食べられる」60歳代の割合の実績は現状(平成30年度【参考値】)及び令和4年度実績を下回っているため、改善を図るよう今後の取組を実施していただきたい。

第5節 予防接種

乳幼児期の種類が多く複雑な予防接種の予診票を、新たに管理しやすく冊子化し、利便性を向上させた点は評価したい。
また、二種混合予防接種の接種率の実績が過年度実績を上回っている点も評価できる。引き続き各種予防接種の接種率向上に努めていただきたい。

第2章 早期発見・支援

第1節 生活習慣病対策

がん検診について、HPV自己検査キットを対象者に案内し、希望者には無料で郵送し、検査実施することで子宮頸がん検診の受診率の向上を図ったことは評価したい。生活習慣病の対策としては引き続き、関係課と連携しつつ各種事業・媒体で健康診断(健診)の重要性を周知し、生活習慣病に対する早期発見と支援の強化を図っていただきたい。

第2節 精神疾患

精神福祉・こども福祉・高齢者福祉の関係機関職員による意見交換を行い、課題を共有し地域包括ケアシステムの推進を図ったことは評価したい。また、こころの健康講座等参加者数の実績が、目標を上回ったことも評価できる。今後も、講座等の開催や関係機関職員との課題共有及び連携強化により、認知症患者や精神障害者及びその家族への支援と市民の理解促進を図っていただきたい。

第3節 自殺対策

高校生を対象に保健センターで精神科医師による相談会を実施していることは、メンタルヘルスに不調を抱えていても受診にハードルを感じている等、相談先に迷う本人や家族の受け皿となることが期待できる。また、精神障害者の当事者や家族が集まれるような場も、保健センターで開催または市が主催で行うことで、参加者が一定の安心感を得られることが期待できるため、これらの事業は引き続き実施・充実に努めていただきたい。

第3章 医療提供体制

第1節 小児医療・周産期医療

入院や手術を必要とする重症救急患者に対応するため、今後も引き続き、小児科救急(初期・二次)の医療提供体制の維持に努めるとともに、市民にわかりやすい情報提供を図られたい。

第2節 救急医療

第二次救急医療体制について、水曜日の当番医が2医療機関ら4医療機関へ整備されたことは本計画の第3章における基本方針で掲げている、「市民がいつでも安心して医療の提供を受けられる」体制整備に沿ったものであると考えられる。引き続き、急な病気やけがに対する不安の解消のため、関係機関との連携を図り、救急医療体制の維持に努めていただきたい。特に小児急患診療については要望も多いことから引き続き継続に努めていただきたい。

第3節 地域医療

在宅医療・介護について、市民への情報提供や、市民向けの講演会を実施している点を評価したい。高齢化が進むにつれて、医療需要が増え、在宅医療の必要量も大幅に増加することが見込まれることから、在宅医療に関する市民への知識の普及啓発が重要だと考えられるため、継続できるよう努められたい。

第4章 市の公立医療機関の役割

第1節 所沢市市民医療センター

令和5年度に策定した再整備基本計画を基に、地域における医療体制の中で、公立医療機関として市民から求められている具体的な役割、医療機能等を整理しつつ、市民のニーズが高い小児急患診療や健診事業等、引き続き円滑な運営に努めていただきたい。

第2節 所沢市歯科診療所あおぞら

新型コロナウイルスの5類移行後も、感染防止対策を徹底した診療を継続いただき感謝したい。引き続き必要な感染防止対策を講じながら、あおぞらでの診療が必要とされる、より多くの利用者を受け入れることができる診療体制を整えるよう図られたい。

第5章 健康危機管理

第1節 感染症対策

新型コロナウイルス感染症は5類に移行となったが、これまでの対応・経験を生かし、市民自らが平時からの感染防止対策を行うための情報発信を継続しながら、今後も感染対策を考慮した上で事業を実施していただきたい。

第2節 災害時医療

災害発生時を想定し、関係機関同士で連絡を取り合うデジタル移動系防災行政無線の通信訓練や、参集訓練、狭山保健所主催の西部地区災害医療訓練の参加等、積極的に様々な訓練を行い、情報共有を図った点を評価したい。引き続き、災害時により円滑な医療救護活動が実施できるよう、日頃の訓練や情報共有に努めていただきたい。

第6章 計画の円滑な推進

第1節 保健・医療・介護・福祉の連携

- ・在宅医療・介護連携を含む地域包括ケアシステムの推進にあたり、医療介護連携会議等の開催を通じて、引き続き各地域で医療や介護を必要としている方のために連携体制の継続、推進に努めていただきたい。
- ・令和5年5月から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置づけられ、感染拡大期にはその影響を受けていた取組も概ね平時と同じように実施できるようになったため、各取組の課題等について関係機関と共有し、連携体制の強化をしていただきたい。
- ・市民が自ら健康保持・増進に取り組めるよう、関係機関と協力しながら情報提供を行い、「トコトコ健幸マイレージ」をはじめとした楽しみながら参加できる事業を実施し、健康状態の把握、健康の意識、日常生活の改善にむけた行動のきっかけづくりとなるよう更なる取組の充実をお願いしたい。
- ・引き続き、第2次所沢市保健医療計画の第1部「総論」、第2章第4節「第1次計画の総括」に示された「成果」、「課題」を踏まえ、「元気でいきいき“健幸(けんこう)長寿のまち” 健康寿命男女とも県内1位を目指し、本計画が円滑に推進できるよう、保健、医療、介護、福祉分野が連携し、計画の方向性に対する様々な取組が実施できるよう努められたい。

第2節 計画の推進体制と進行管理【再掲】

- ・第2次所沢市保健医療計画の進行管理については、PDCAサイクルの考え方にに基づき、市の関係部署による「所沢市保健医療計画庁内推進会議」において進捗状況を取りまとめ、その結果を、市民、関係機関、関係団体等の代表者、学識経験者等から構成する「所沢市保健医療計画推進委員会」において点検・評価を行い、適正な進行管理がなされている。
- ・本計画の進捗状況を把握するため、各小項目に設定した目標指標の達成状況を管理するとともに、「今後の市の方向性」に対する取組状況についても確認し、必要に応じて意見等をいただきながら計画の推進に努めている。また、必要に応じて「委員会コメント欄」に評価を補足する内容を記載している。
- ・本計画については、市民に周知するため、市ホームページや市政情報センターを通じて第2次所沢市保健医療計画を頒布している。また、計画の目標指標達成状況や「今後の市の方向性」に対する取組状況などを示した「第2次所沢市保健医療計画取組状況評価シート」を作成し、市ホームページを通じて情報発信している。
- ・「第2次所沢市保健医療計画令和5年度取組状況評価シート」における「主な取組実績」について、令和5年度より新たに始めた取組については、該当箇所を下線で示すことで分かりやすくされており、各取り組み内容と合わせて確認した。
- ・「第2次所沢市保健医療計画令和5年度取組状況評価シート」における目標指標達成度が未評価の項目については、令和4年度実績に引き続き新型コロナウイルス感染予防の影響により、目標指標が中止となったものであることを確認した。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響等、計画策定時とは状況が異なるため、DX(デジタル・トランスフォーメーション)の視点から、デジタル技術を活用した施策展開を引き続き検討いただきたい。
- ・定性的な指標を目標としているシートについては、主な取組実績から、新たな取組など、進展している内容がうかがえた。一方で、会議等の開催や参加を目標指標に設定したことで、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標指標による評価ができないケースがあったため、次期計画策定時には現在の評価方法が適正か、市民にとってわかりやすいかを改めて検討していただきたい。
- ・定量的な指標について、現状(=計画策定時点)から改善がなされるよう、今後の取組を実施いただきたい。